

◆ 品川区 ◆

中小企業の景況

令和 3 年度第 2・四半期

(令和 3 年 7～9 月)

目 次



五反田バレーアクセラレーション
プログラムキックオフイベント
(令和3年9月10日開催)

都内中小企業の景況（令和 3 年 7～9 月期）	1
品川区内中小企業の景況（令和 3 年 7～9 月期）	2
品川区の今期の特徴点	3
製 造 業	4
卸 売 業	9
小 売 業	13
サービス業	18
建 設 業	22
日銀短観	26
東京都と品川区の企業倒産動向	26
特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化に よる影響とデジタル化について」	27
中小企業景況調査 比較表・転記表	32

品川区地域振興部商業・ものづくり課

調査実施機関 株式会社東京商工リサーチ

都内中小企業の景況（令和3年7～9月期）

業況：全体でやや悪化。小売業で改善、製造業、卸売業、サービス業で悪化。
見通し：すべての業種で大幅に改善の見通し。



業況 DI（季節調整済み、「良い」企業割合-「悪い」企業割合）は▲44（前期は▲40）と、やや悪化した。今後3ヶ月間の見通しでは、今期比23ポイント増の▲21と、極端に改善する見通し。

	前期 (R3.6)	今期 (R3.9)	増減	今後3ヶ月間の見通し
製造業	▲28	▲36	▲8	▲25
卸売業	▲37	▲44	▲7	▲18
小売業	▲64	▲58	6	▲34
サービス業	▲34	▲40	▲6	▲10
全体	▲40	▲44	▲4	▲21

令和3年9月の都内中小企業の業況 DI は、前期から4ポイント減の▲44と、やや悪化した。今後3ヶ月間の業況見通し DI では、今期比23ポイント増の▲21と、極端に改善する見通しとなっている。

都内中小企業の業況 DI を業種別にみると、小売業（▲58）は6ポイント増と大幅に改善した。一方で、サービス業（▲40）は6ポイント減、卸売業（▲44）は7ポイント減、製造業（▲36）は8ポイント減と大幅に悪化した。

なお、仕入価格 DI（仕入単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、製造業（32）は5ポイント増、卸売業（15）は3ポイント増とやや上昇した。小売業（▲7）は前期から変動がなかった。

販売価格 DI（販売単価が「上昇」とした企業割合-「低下」とした企業割合）をみると、小売業（▲11）は4ポイント増とやや上昇し、卸売業（6）は1ポイント増、製造業（▲5）は前期から変動がなかった。一方で、サービス業（▲10）は3ポイント減とやや下降した。

今後3ヶ月間の業況見通し DI を業種別にみると、全業種で改善すると見込まれている。サービス業（▲10）は30ポイント増、卸売業（▲18）は26ポイント増、小売業（▲34）は24ポイント増と極端に改善し、製造業（▲25）は11ポイント増と大幅に改善する見込みとなっている。

【注】

○D. I ディフュージョン インデックス (Diffusion Indexの略)

D. I（ディーアイ）は、増加（又は「上昇」「楽」など）したと答えた企業割合から、減少（又は「下降」「苦しい」など）したと答えた企業割合を差引いた数値のことで、不変部分を除いて増加したとする企業と減少したとする企業のどちらかの力が強いかを比べて時系列的に傾向をみようとするものです。

○（季節調整済）D. I

季節調整済とは、各期で季節的な変動を繰り返すD. Iを過去5年間まで遡り、季節的な変動を除去して加工したD. I値です。修正値ともいいます。

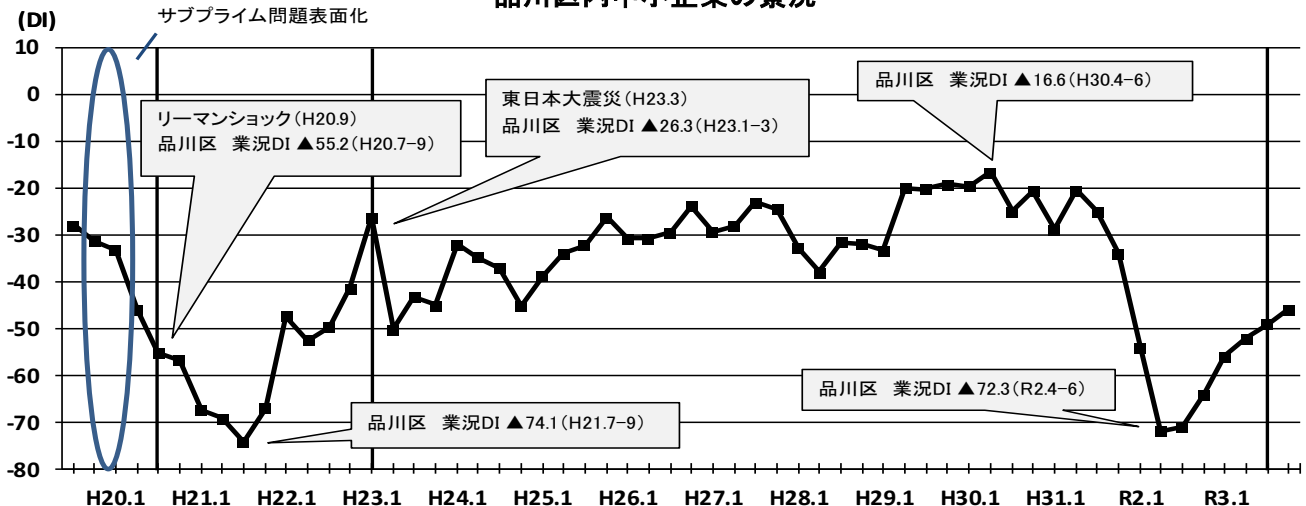
○傾向値

傾向値は、季節変動の大きな業種（例えば小売業）ほど有効で、過去の推移を一層なめらかにして景気の方角をみる方法です。

品川区内中小企業の景況（令和3年7～9月期）

業況：全体の景況感はやや改善。製造業、サービス業で大幅に改善、卸売業は悪化。
見通し：卸売業、小売業で改善、製造業、建設業はやや悪化の見込み。

品川区内中小企業の景況



平成14年2月に始まった戦後最長の好況の影響からか、品川区の業況DIは平成18年10月頃までは緩やかながらも回復基調にあった。その後、サブプライム問題が表面化した平成19年7月頃より業況DIは低下が続き、リーマンショック発生から約1年後にあたる平成21年7月～9月期の業況DIは▲74と、最も悪化した。以後、平成23年3月の東日本大震災発生直後には再び悪化したものの、回復の軌跡をたどっていたが、平成31年4月以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて大きく悪化し、令和2年4月～6月期の業況DIは▲72となった。

今期（令和3年7～9月期）の業況DIは▲49となり、引き続き厳しい状況ながらも、令和2年4月～6月期以降、5期連続で改善した。

品川区内中小企業の業況DI

	前々期 (R3.1～3)	前期 (R3.4～6)	今期 (R3.7～9)	今後3ヶ月間 の見通し
製造業	▲49	▲59	▲45	▲49
卸売業	▲60	▲39	▲49	▲39
小売業	▲60	▲69	▲66	▲51
サービス業	▲60	▲57	▲46	▲44
建設業	▲51	▲42	▲44	▲48
全体	▲56	▲52	▲49	▲46

※小数点第1位を四捨五入した数値

《最近の景況動向》

今期の品川区内中小企業全体の業況は、やや改善した。来期（今後3ヶ月間の見通し）においても、やや改善する見通しとなっている。業種別にみると、今期は製造業とサービス業で大幅に改善、小売業でやや改善した。建設業は前期並となり、卸売業では大幅に悪化した。来期は卸売業、小売業で大幅に改善、サービス業は今期並、製造業、建設業ではやや悪化する見込みである。

経済産業省が取りまとめている鉱工業指数においては、9月（速報）は生産、出荷は低下、在庫、在庫率は上昇となった。製造工業生産予測調査では、10月は前月比6.4%の上昇、11月は5.7%の上昇を予測している。なお、総務省統計局が取りまとめている9月の消費者物価指数（2015年=100）は100.1（中分類総合指数）となっており、前月比（季節調整値）で0.4%上昇した。

品川区の今期の特徴点

景 気 予 報						
						
大きく上昇	上 昇	やや上昇	横 這 い	やや下降	下 降	大きく下降

全 体



業況はやや改善した。売上額、収益はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格は下降傾向がやや強まり、仕入価格は上昇傾向がやや強まった。資金繰りは厳しさがやや増した。

製 造 業



業況はかなり改善した。売上額は前期並となり、収益は減少幅がやや拡大した。販売価格は下降傾向がやや弱まり、原材料価格は上昇傾向がかなり強まった。在庫は不足感がかなり強まった。資金繰りは厳しさがかなり和らいだ。

卸 売 業



業況は低調感がかなり強まった。売上額、収益はともに減少幅が極端に拡大した。販売価格は上昇傾向がかなり弱まり、仕入価格は上昇傾向がやや強まった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがかなり増した。

小 売 業



業況はやや改善した。売上額は減少幅がかなり拡大し、収益は前期並となった。販売価格は下降傾向がかなり強まり、仕入価格は上昇傾向がかなり弱まった。在庫は過剰感がかなり改善した。資金繰りは厳しさがかなり増した。

サービスマ業



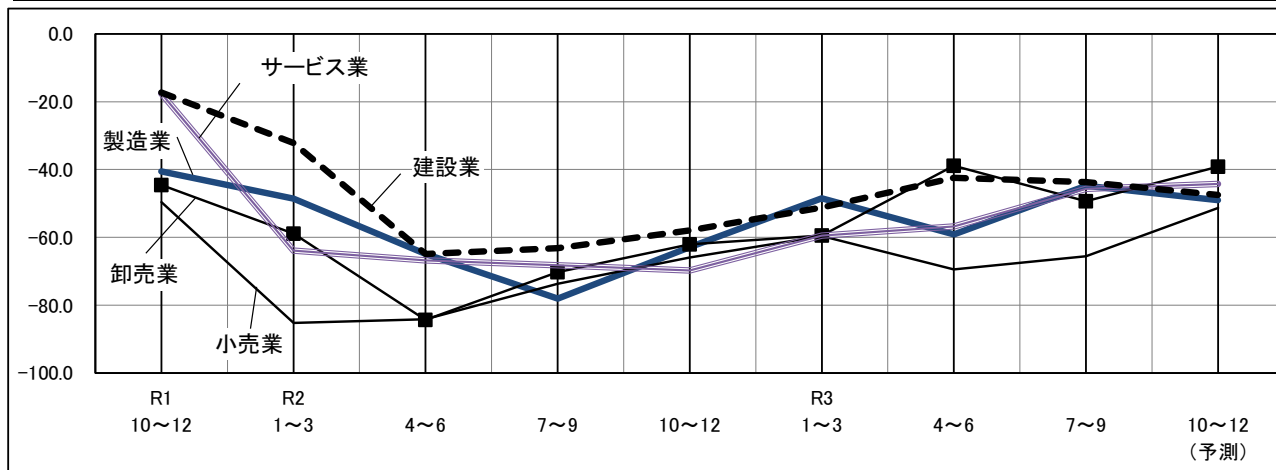
業況はかなり改善した。売上額は前期並となり、収益は減少幅がやや縮小した。料金価格は下降傾向がかなり弱まり、材料価格は上昇傾向がかなり強まった。資金繰りは厳しさがやや和らいだ。

建 設 業

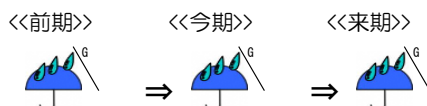


業況は前期並となった。売上額は減少幅がかなり拡大した。施工高は前期並となり、収益は減少幅がやや縮小した。請負価格は下降傾向がかなり強まり、材料価格は前期並となった。在庫は過剰感がやや改善した。資金繰りは厳しさがやや増した。

各業種別業況の動き（実績）と来期の予測



製造業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 59 \rightarrow \Delta 45$) はかなり改善した。売上額 ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 38$) は前期並、収益 ($\Delta 36 \rightarrow \Delta 40$) は減少幅がやや拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 9 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 ($\Delta 18 \rightarrow \Delta 15$) は下降傾向がやや弱まり、原材料価格 ($39 \rightarrow 50$) は上昇傾向がかなり強まった。在庫 ($\Delta 2 \rightarrow \Delta 10$) は不足感がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 37 \rightarrow \Delta 29$) は厳しさがかなり和らぎ、借入難易度 ($\Delta 7 \rightarrow \Delta 5$) はやや改善した。今期借入れをした企業は 29% で前期の 41% から 12 ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

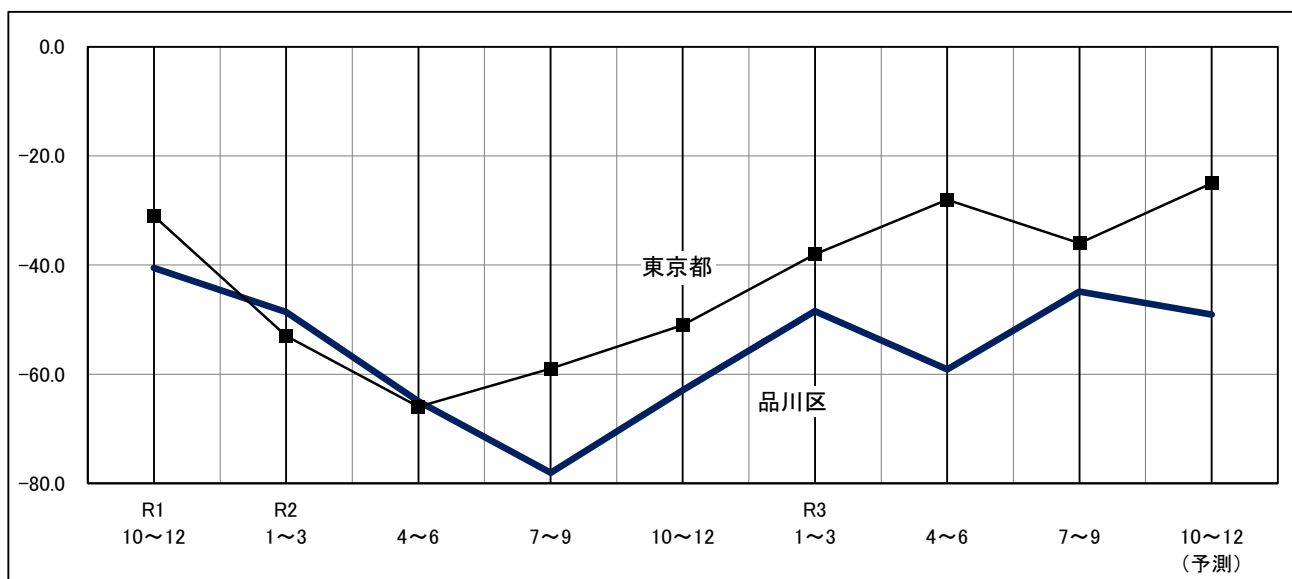
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 72%、2 位は「原材料高」が 31%、3 位は「利幅の縮小」、「仕入先からの値上げ要請」、「工場・機械の狭小・老朽化」が 16% となった。前期 4 位だった「工場・機械の狭小・老朽化」と、前期 5 位だった「仕入先からの値上げ要請」が、今期 3 位と順位を上げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 57%、2 位は「経費を節減する」が 40%、3 位は「新製品・技術を開発する」が 21% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

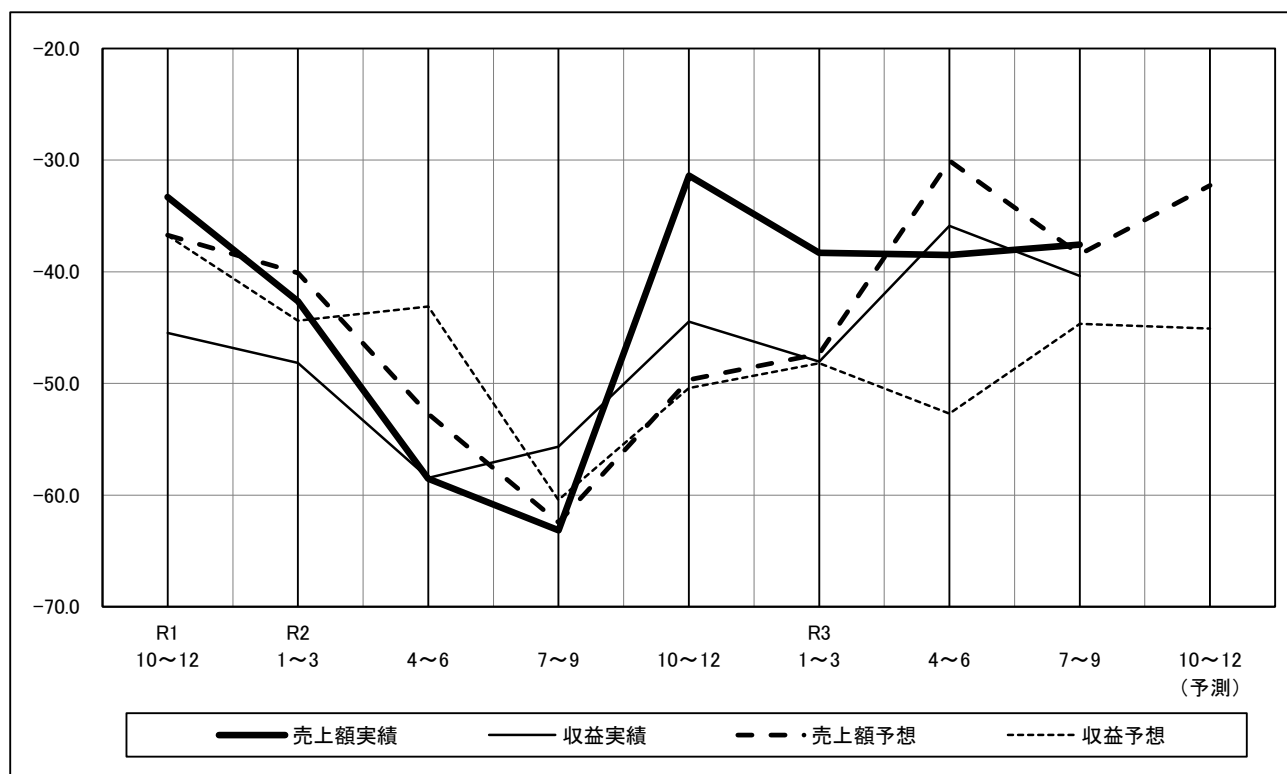
来期の見通し

業況 ($\Delta 45 \rightarrow \Delta 49$) は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は減少幅がやや拡大すると予想されている。

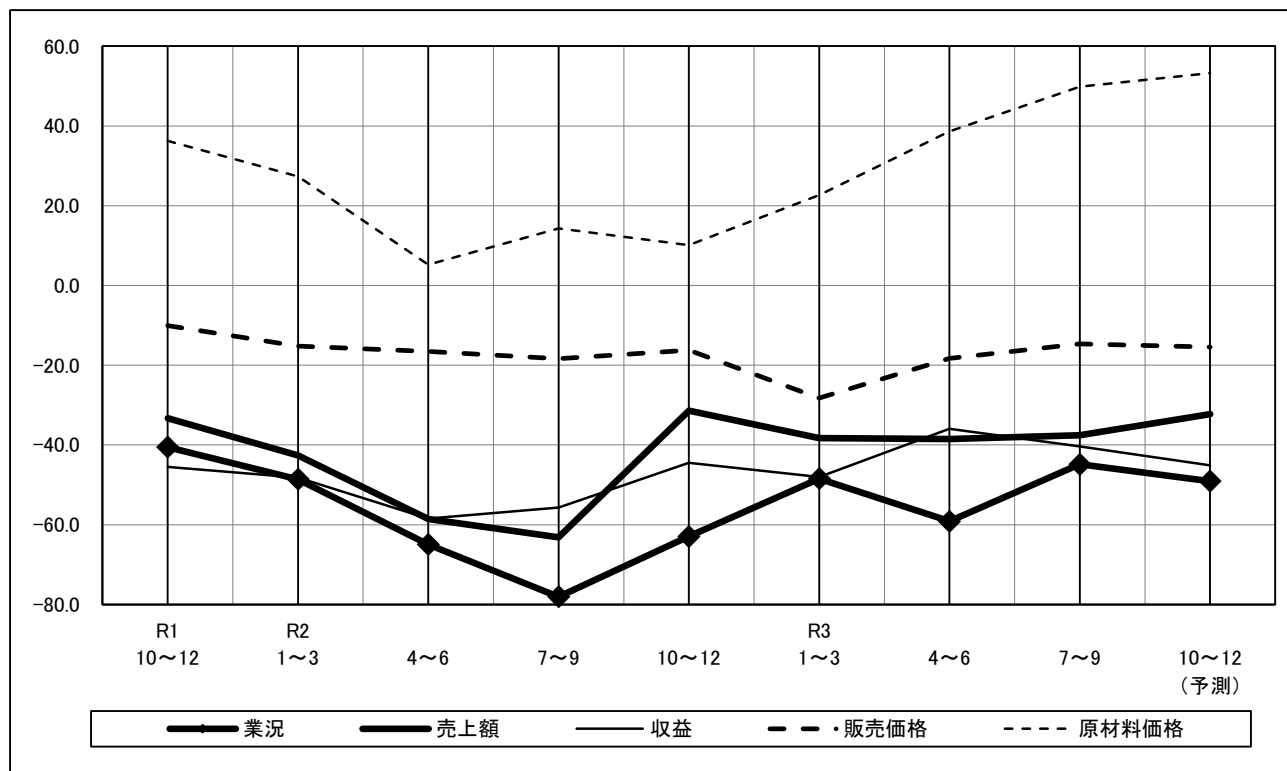
〈製造業〉品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



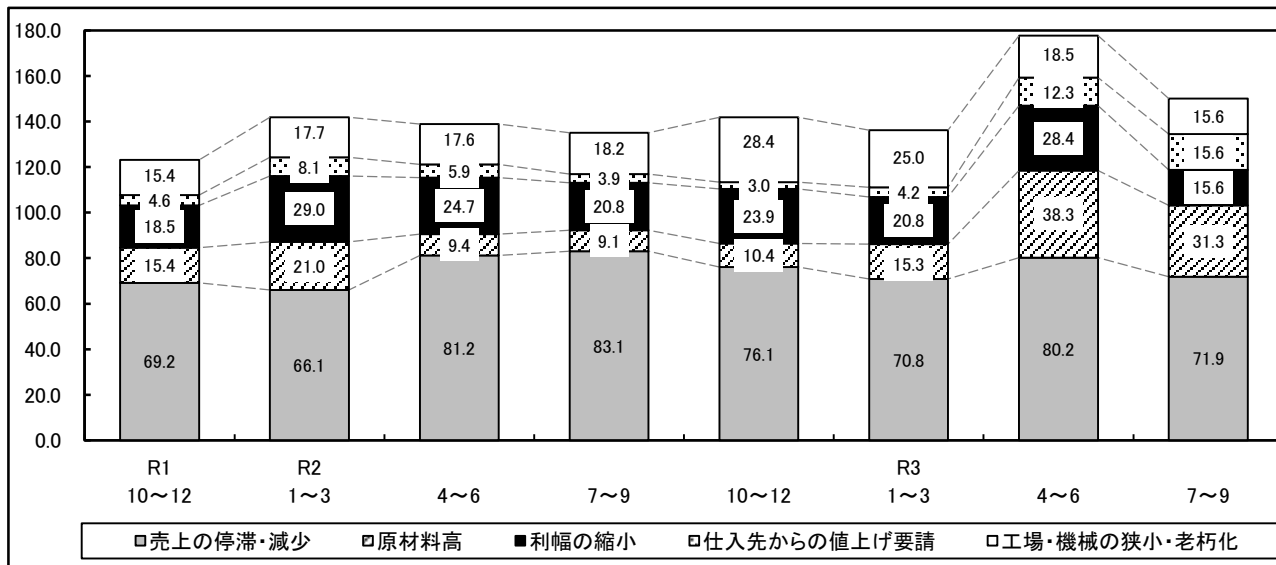
〈製造業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈製造業〉 業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測

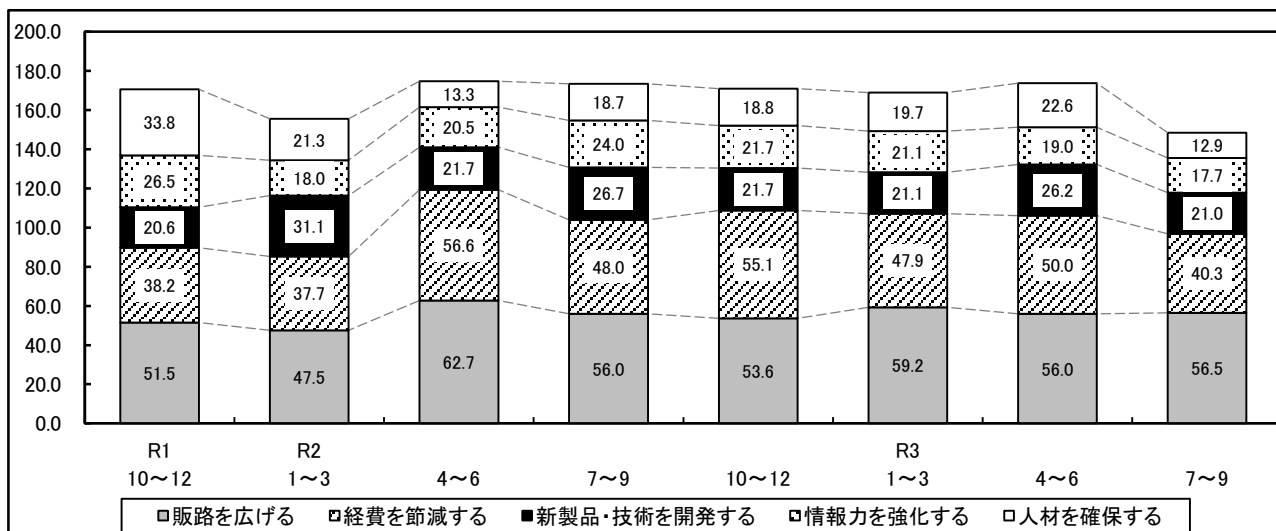


〈製造業〉 経営上の問題点（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	売上の停滞・減少	76.1 %	売上の停滞・減少	70.8 %	売上の停滞・減少	80.2 %	売上の停滞・減少	71.9 %
第2位	工場・機械の狭小・老朽化	28.4 %	工場・機械の狭小・老朽化	25.0 %	原材料高	38.3 %	原材料高	31.3 %
第3位	利幅の縮小	23.9 %	利幅の縮小	20.8 %	利幅の縮小	28.4 %	利幅の縮小	15.6 %
							仕入先からの値上げ要請	15.6 %
							工場・機械の狭小・老朽化	15.6 %
第4位	同業者間の競争の激化	16.4 %	同業者間の競争の激化	16.7 %	工場・機械の狭小・老朽化	18.5 %	人手不足	9.4 %
							同業者間の競争の激化	9.4 %
							人件費の増加	9.4 %
第5位	大手企業・工場の縮小・撤退	11.9 %	原材料高	15.3 %	仕入先からの値上げ要請	12.3 %	合理化の不足	7.8 %
	人手不足	11.9 %						

〈製造業〉 重点経営施策（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	経費を節減する	55.1 %	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	56.0 %	販路を広げる	56.5 %
第2位	販路を広げる	53.6 %	経費を節減する	47.9 %	経費を節減する	50.0 %	経費を節減する	40.3 %
第3位	新製品・技術を開発する	21.7 %	情報力を強化する	21.1 %	新製品・技術を開発する	26.2 %	新製品・技術を開発する	21.0 %
	情報力を強化する	21.7 %	新製品・技術を開発する	21.1 %				
第4位	人材を確保する	18.8 %	人材を確保する	19.7 %	人材を確保する	22.6 %	情報力を強化する	17.7 %
第5位	教育訓練を強化する	11.6 %	教育訓練を強化する	18.3 %	情報力を強化する	19.0 %	人材を確保する	12.9 %
							教育訓練を強化する	12.9 %

(1) 電気機械器具

業況(△42→△46)は低調感がやや強まった。売上額(5→△59)、収益(5→△55)はともに増加から減少に転じた。販売価格(0→△9)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(42→57)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△32→△19)は厳しさがかなり和らいだ。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(2) 一般機械器具・金型

業況(△76→△27)は極端に改善した。売上額(△48→△1)、収益(△60→△17)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△17→4)は上昇に転じ、原材料価格(55→66)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△28→△25)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(3) 出版・印刷・同関連産業

業況(△63→△67)は低調感がやや強まった。売上額(△58→△38)、収益(△58→△34)はともに減少幅が極端に縮小した。販売価格(△31→△5)は下降傾向が極端に弱まり、原材料価格(△8→17)は上昇に転じた。資金繰り(△31→△44)は厳しさがかなり増した。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(4) 金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ

業況(△59→△59)は前期並となった。売上額(△58→△72)、収益(△59→△71)はともに減少幅がかなり拡大した。販売価格(△24→△39)は下降傾向がかなり強まり、原材料価格(44→34)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△69→△47)は厳しさが極端に和らいだ。

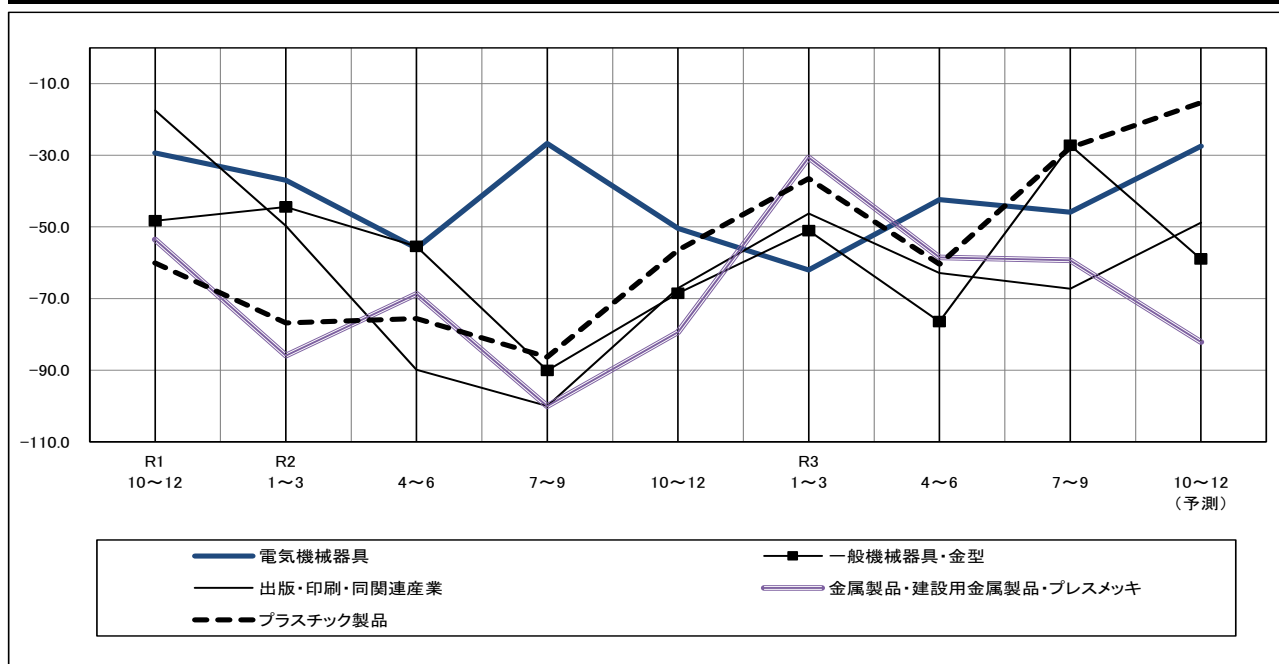
来期の業況は低調感が極端に強まると予想されている。

(5) プラスチック製品

業況(△60→△28)は極端に改善した。売上額(△52→△31)は減少幅が極端に縮小し、収益(△34→△34)は前期並となった。販売価格(△32→△27)は下降傾向がやや弱まり、原材料価格(58→82)は上昇傾向が極端に強まった。資金繰り(△30→△9)は厳しさが極端に和らいだ。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

〈製造業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



製造業 業種別コメント

<電気機械器具>

1. 新型コロナウイルス感染症で海外販売ができない。国内での打ち合わせ減少による販売減。
2. コロナ禍で受注の一部業種による悪化と、原材料（部品）の入手困難。
3. 冬場へ向けて季節商品が例年通り受注が増加してきているが、電子部品の入手が困難で、納期の長期化となり生産に支障が出始めている。
4. 徐々に大型の引合い案件が増えているため、収益は改善傾向にある。
5. デジタル化は難しく、せいぜい時差出勤等でのいわれています。取引先でのイベント等が激減し、それに伴うチラシ、パンフレット等の印刷注文なく、売上減収につながっている。
6. 営業部員の採用が上手くいかない。
7. 緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置により、イベント開催など制限がかかり、セミナーはオンラインになり、飲食店なども通常運営ができず、紙媒体が作りづらい状態にある。
8. 現状は横ばいではあるが、長期的には不安も感じている。

<一般機械器具・金型>

1. 新型コロナ感染症対策のため、営業活動ができず、売上を伸ばすことができない。
2. 製造に必要な電気部品の長期欠品により、生産が停止するリスクがある。
3. 客先が食品会社、食品加工会社、外食産業が多いので、新型コロナウイルス感染症の影響で引合いおよび売上が不調。
4. 業界としては上向き傾向であるが、未だ当社には受注という形できていない状況。自動車業界の生産状況や今後のEV化シフトという不透明な課題があり、当社の設備を購入するに至っていない。
5. 公共の事業が多いため、予算圧縮が大きく、売上減少が続いている。
6. 売上は増加しているものの、材料供給に大きな問題がある。

<金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ>

1. 大企業の進出により、売上は減少傾向である。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響により、売上は減少傾向である。経費等についても見直しを考えている所である。
3. 受注減少、売上減少。

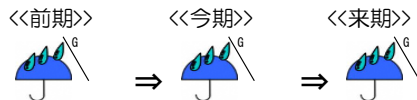
<プラスチック製品>

1. コロナ禍による減収がまだ続いていると思われる。
2. 代表者が高齢になり、この会社を継ぐ者がおりません。従業員に優秀な者がおりますが、継がせるとなると金銭的な問題がありすぎます。また、代表者のつながりで、現在のところ仕事が絶えることは少ないですが、売上は減少したままなので将来は不明です。

<出版・印刷・同関連産業>

1. 新型コロナウイルス感染症の影響。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響で研修自体ができなくなり、仕事が激減している。
3. 新型コロナウイルス感染症のため、クライアントからの受注が減った。
4. コロナ禍でテレワークやペーパーレスが進み、仕事の需要が大きく変化した。

卸 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況 ($\Delta 39 \rightarrow \Delta 49$) は低調感がかなり強まった。売上額 ($\Delta 7 \rightarrow \Delta 41$)、収益 ($\Delta 12 \rightarrow \Delta 49$) はともに減少幅が極端に拡大した。

なお、全都と比較した当区の業況は 5 ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格 (8→1) は上昇傾向がかなり弱まり、仕入価格 (33→35) は上昇傾向がやや強まった。在庫 (13→11) は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り ($\Delta 10 \rightarrow \Delta 22$) は厳しさがかなり増し、借入難易度 ($\Delta 7 \rightarrow \Delta 11$) はやや悪化した。今期借入れをした企業は 34% で前期から変動はなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

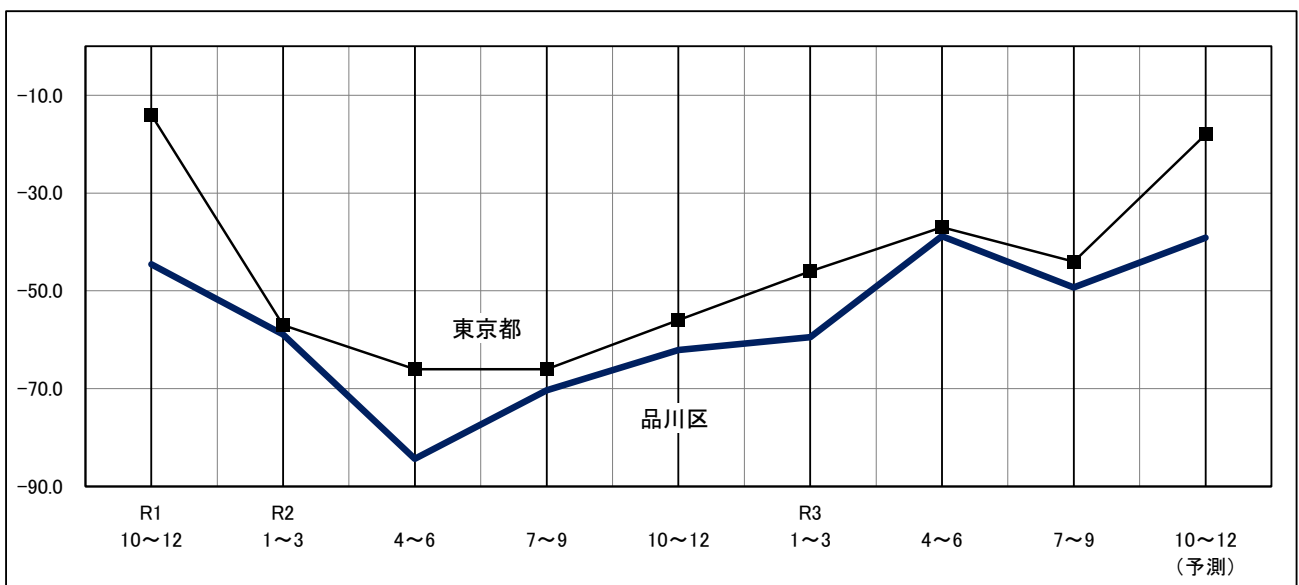
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」が 66%、2 位は「利幅の縮小」が 30%、3 位は「取引先の減少」が 26% となった。前期 2 位だった「取引先の減少」が、今期 3 位と順位を下げた。

重点経営施策は、1 位は「販路を広げる」が 70%、2 位は「経費を節減する」が 46%、3 位は「情報力を強化する」が 32% となった。前期と比べ、上位 3 項目に変動はなかった。

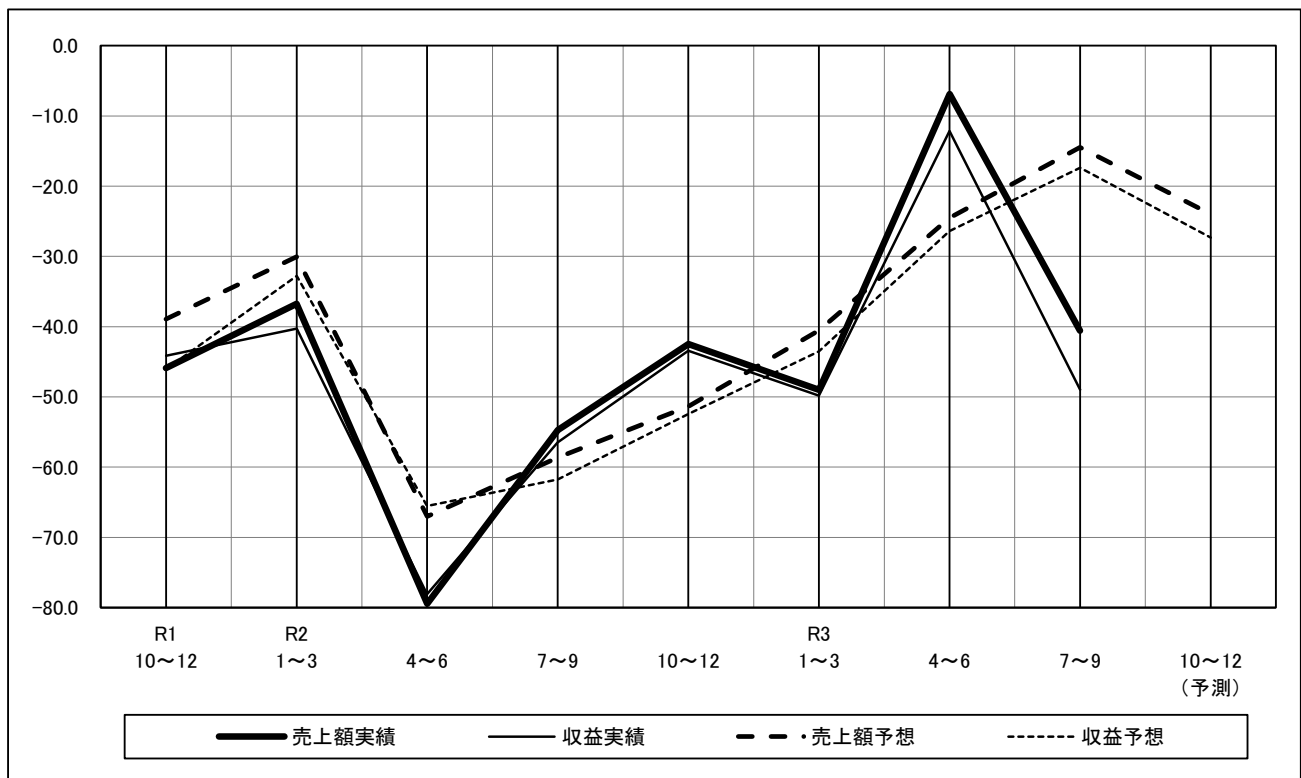
来期の見通し

業況 ($\Delta 49 \rightarrow \Delta 39$) はかなり改善する見込み。売上額は減少幅がかなり縮小し、収益は減少幅が極端に縮小すると予想されている。

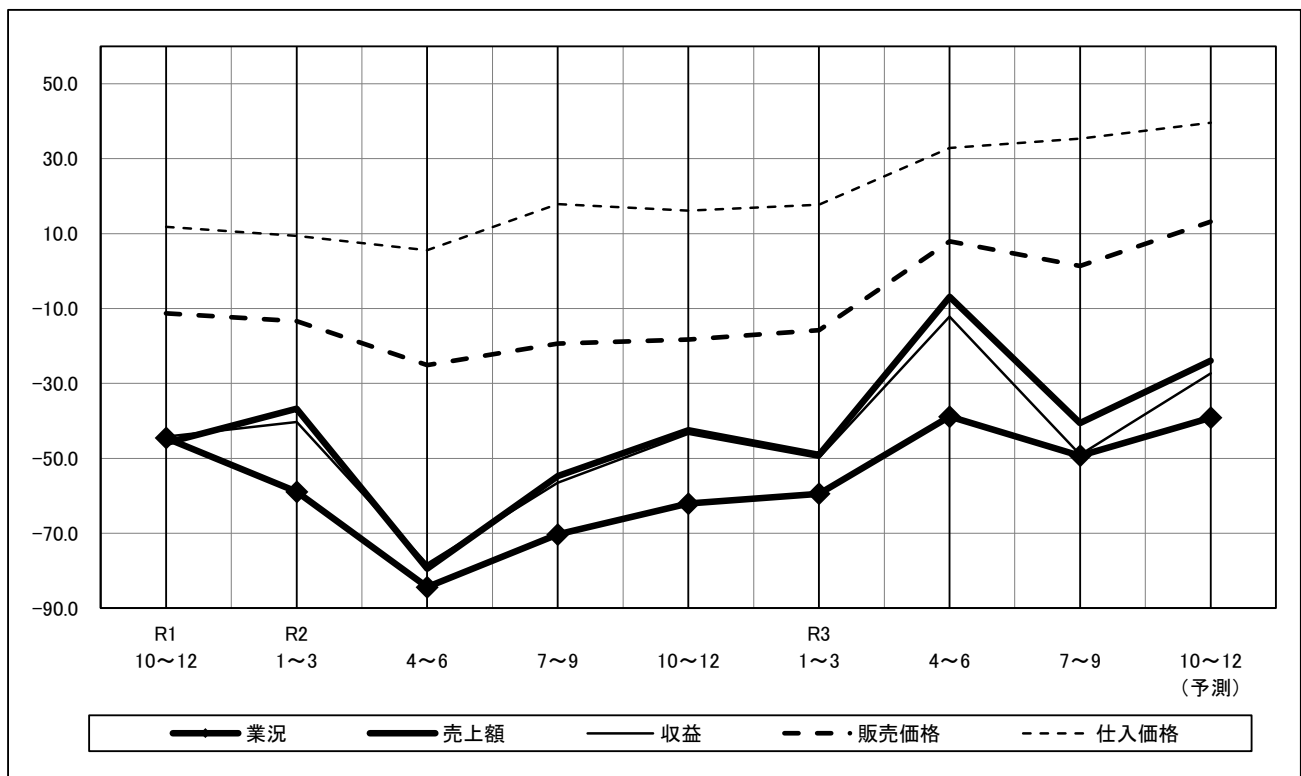
〈卸売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



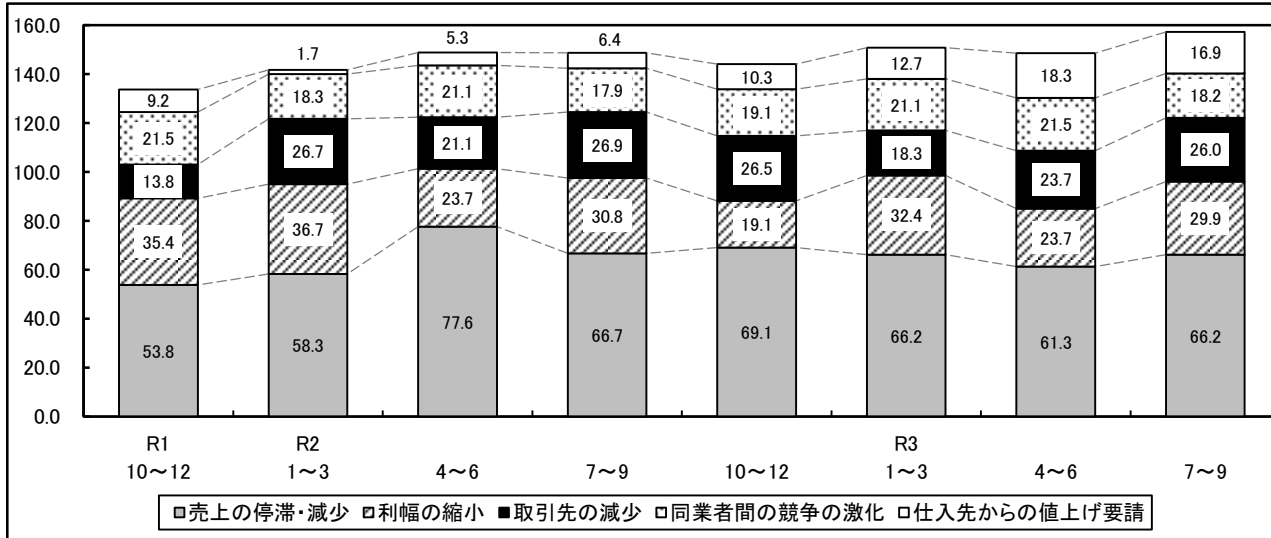
〈卸売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈卸売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

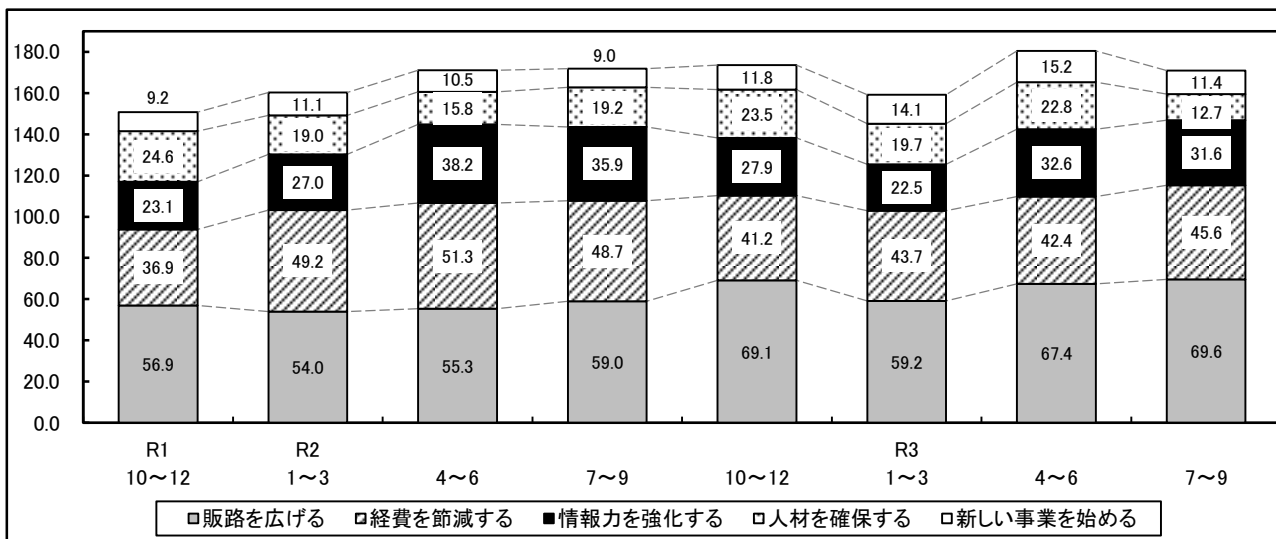


〈卸売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	売上上の停滞・減少	69.1 %	売上上の停滞・減少	66.2 %	売上上の停滞・減少	61.3 %	売上上の停滞・減少	66.2 %
第2位	取引先の減少	26.5 %	利幅の縮小	32.4 %	利幅の縮小	23.7 %	利幅の縮小	29.9 %
第3位	利幅の縮小	19.1 %	同業者間の競争の激化	21.1 %	同業者間の競争の激化	21.5 %	取引先の減少	26.0 %
	同業者間の競争の激化	19.1 %						
第4位	小口注文・多頻度配送の増加	14.7 %	人手不足	19.7 %	仕入先からの値上げ要請	18.3 %	同業者間の競争の激化	18.2 %
第5位	人手不足	11.8 %	取引先の減少	18.3 %	為替レートの変動	16.1 %	仕入先からの値上げ要請	16.9 %
	合理化の不足	11.8 %						

〈卸売業〉 重点経営施策（％）

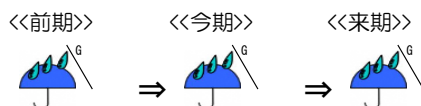


	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	販路を広げる	69.1 %	販路を広げる	59.2 %	販路を広げる	67.4 %	販路を広げる	69.6 %
第2位	経費を節減する	41.2 %	経費を節減する	43.7 %	経費を節減する	42.4 %	経費を節減する	45.6 %
第3位	情報力を強化する	27.9 %	情報力を強化する	22.5 %	情報力を強化する	32.6 %	情報力を強化する	31.6 %
第4位	人材を確保する	23.5 %	品揃えを充実する	21.1 %	人材を確保する	22.8 %	人材を確保する	12.7 %
第5位	教育訓練を強化する	16.2 %	人材を確保する	19.7 %	新しい事業を始める	15.2 %	新しい事業を始める	11.4 %

卸売業 業種別コメント

1. コロナ禍にも関わらず、比較的安定している。
2. 新型コロナウイルス感染症により得意先の売上が減少。それに伴い受注も減少している。商材の仕入が海外のため、仕入価格が大幅上昇。得意先への値上げ要請は拒否されている。
3. 不動産価格の高騰により、下落を懸念する顧客が増えているように感じる。需要と供給のバランスを考えながら、損失を防ぐ対応を意識した経営を行う。
4. 自粛要請で外出が減り、需要が減った。
5. 輸入の際の輸送費が以前の3倍に。それにより税金などすべてのコストが上昇。
6. 新型コロナウイルス感染症により昨年に引き続き消費は大きく伸び悩んでいる。売上也減少傾向にあり、厳しい状況が続いている。
7. 新型コロナウイルス感染症の影響により、取引先店舗の休業および縮小が続いている。
8. 食肉卸売としては輸入肉全般が相場高で、その価格を売価にすべては上げられない。原料アップで利益が取りにくい。
9. 政府の緊急事態宣言で9割以上のお客様が休業し、全く手がありません。融資はあるが、返さなければならぬ借金なので、今後の売上に希望が持てず返すあてなどもなく、これ以上の借入は無理です。補助金、一時金が欲しいです。
10. 飲食店、観光業界の停滞で、減収減益が続いている。
11. コロナ禍により、売上減少が続いている。
12. 取引先からの安定した受注がある。中にはコロナ禍で売上が減少したままの取引先もある。
13. ウッドショックにより、売上の停滞および減少。
14. 社員、従業員の高齢化が進みつつあり、今まで2人でやった作業を3人でするようになっていく。そのためやや売上が下がりつつあるが、人員面で無理ができない。技術力はかなりあるので収益性はそう悪くなく、また無理して売上を伸ばす必要はないが、技術者を育てるためには約10年かかるため今後が心配である。
15. 新型コロナウイルス感染症による影響大。
16. 取引先が長いコロナ禍の影響で、売上の減少が続いている。
17. 依然、自動車産業低迷の影響あり、減収が続いている。
18. 国内の製造業の衰退により取引先企業の海外移転、廃業が進み、コロナ禍が加わり厳しい状況が続いている。
19. あまり変化なく続いている。
20. 月により売上の変動が多く、毎月定期的に収入になるビジネスの確立が必要である。
21. コロナ禍によりストップしていた修繕工事の着工が増えてきている。
22. 大口取引先からの受注がある。
23. 需要が減り、売上は減少傾向。
24. 新型コロナウイルス感染症の影響で、東南アジアでの生産が想定より減少した。
25. 半導体不足で受注状況に影響あり。
26. 客先のテレワーク等でプロジェクトの進展の遅れ。客先訪問ができない。新規顧客開拓が困難。
27. 内需が低迷して受注減となっている。
28. 生産性の向上による利益増加への取組が必要（雇用確保および利益確保）。若返り等、人の補充も必要（平均年齢上昇対策）。
29. 百貨店等が売上減少。その他の業種のお客様の営業を強化し、何とか受注を確保している。
30. 前期より継続している新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、商品卸先であるエステティックサロンの来客減少により、商品流通が滞っていることが要因と考える。
31. 新型コロナウイルス感染症の終息がなければ日本経済、景気回復は望めないと思います。上向いてきている気配は感じません。
32. 鉄材の値上がり。自動車の減産。
33. 新型コロナウイルス感染症のため売上高が多少減っているが、今期も利益を出すことができた。
34. 売上の減少。
35. 増収増益基調だが、前年の新型コロナウイルス感染症の影響のあった年度の比較なので水準が戻った程度である。消費税の値上げの影響、アフターコロナの産業の再縮等、不安定な要因は大きい。

小 売 業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△69→△66)はやや改善した。売上額(△60→△67)は減少幅がかなり拡大し、収益(△61→△61)は前期から変動はなかった。

なお、全都と比較した当区の業況は8ポイント下回っている。

価格・在庫動向

販売価格(△7→△20)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(27→19)は上昇傾向がかなり弱まった。在庫(19→5)は過剰感がかなり改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△31→△38)は厳しさがかなり増し、借入難易度(△13→△10)はやや改善した。今期借入れをした企業は46%で前期から変動はなかった。

経営上の問題点・重点経営施策

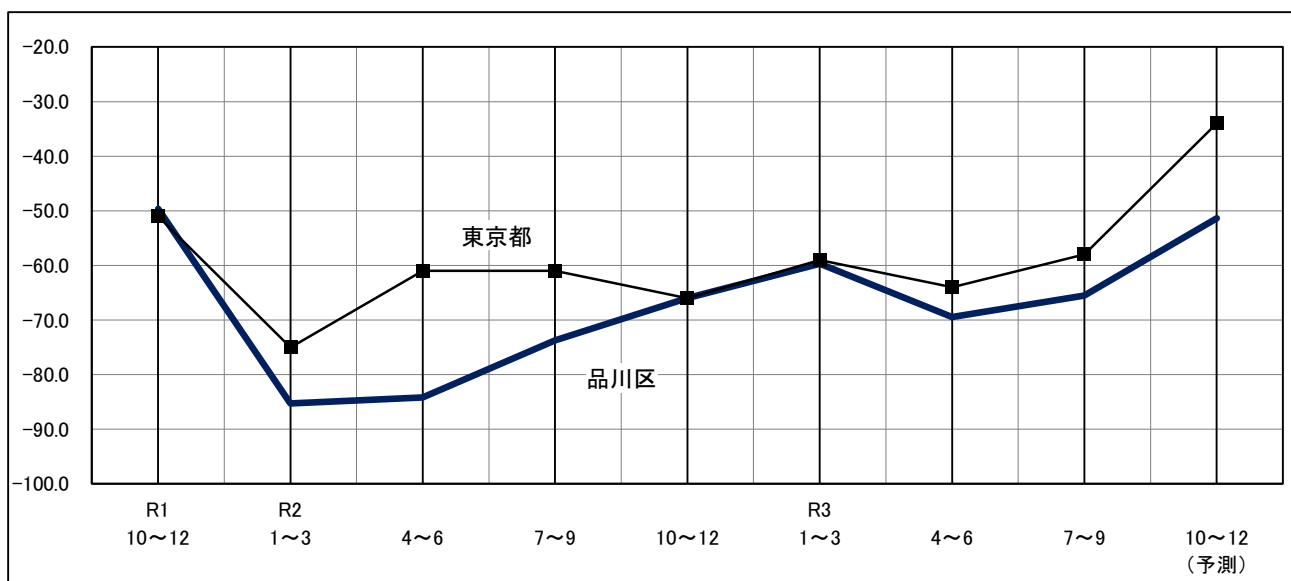
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が86%、2位は「天候の不順」が19%、3位は「利幅の縮小」、「仕入先からの値上げ要請」、「人件費の増加」、「その他」が16%となった。前期圏外だった「天候の不順」が、今期2位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」が49%、2位は「品揃えを改善する」が26%、3位は「宣伝・広報を強化する」が23%となった。前期と比べ、上位3項目に変動はなかった。

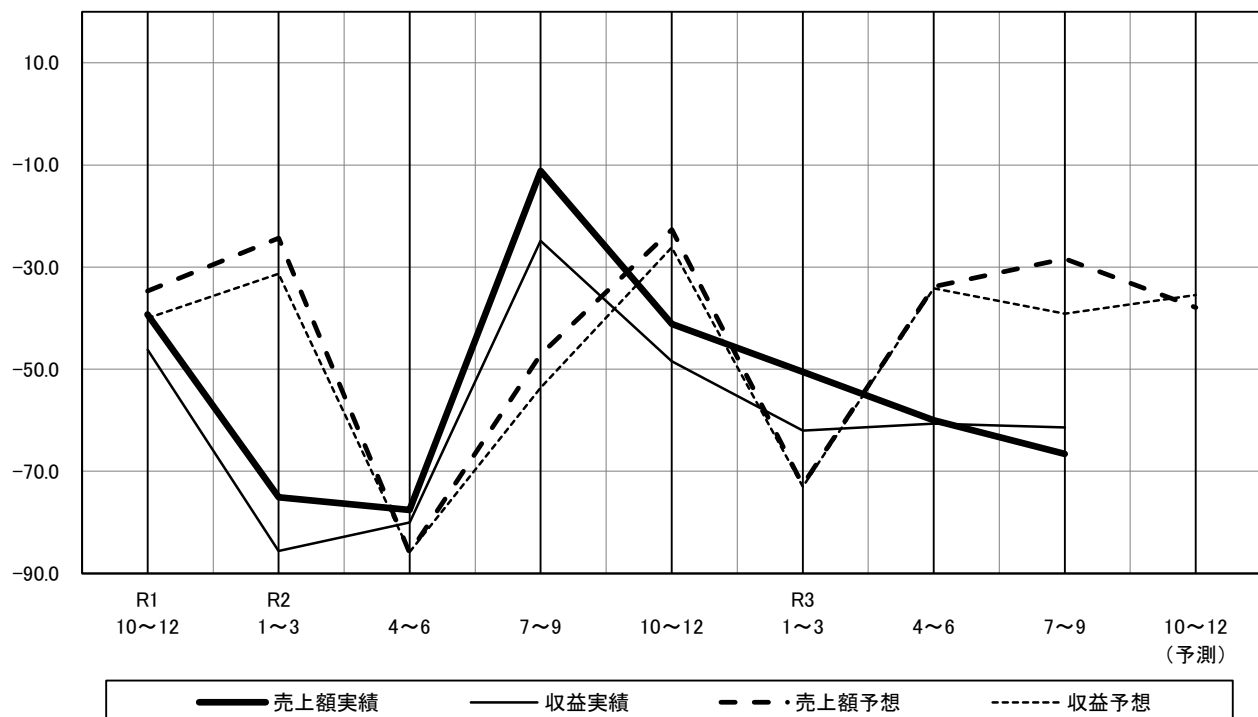
来期の見通し

業況(△66→△51)はかなり改善する見込み。売上額、収益はともに減少幅が極端に縮小すると予想されている。

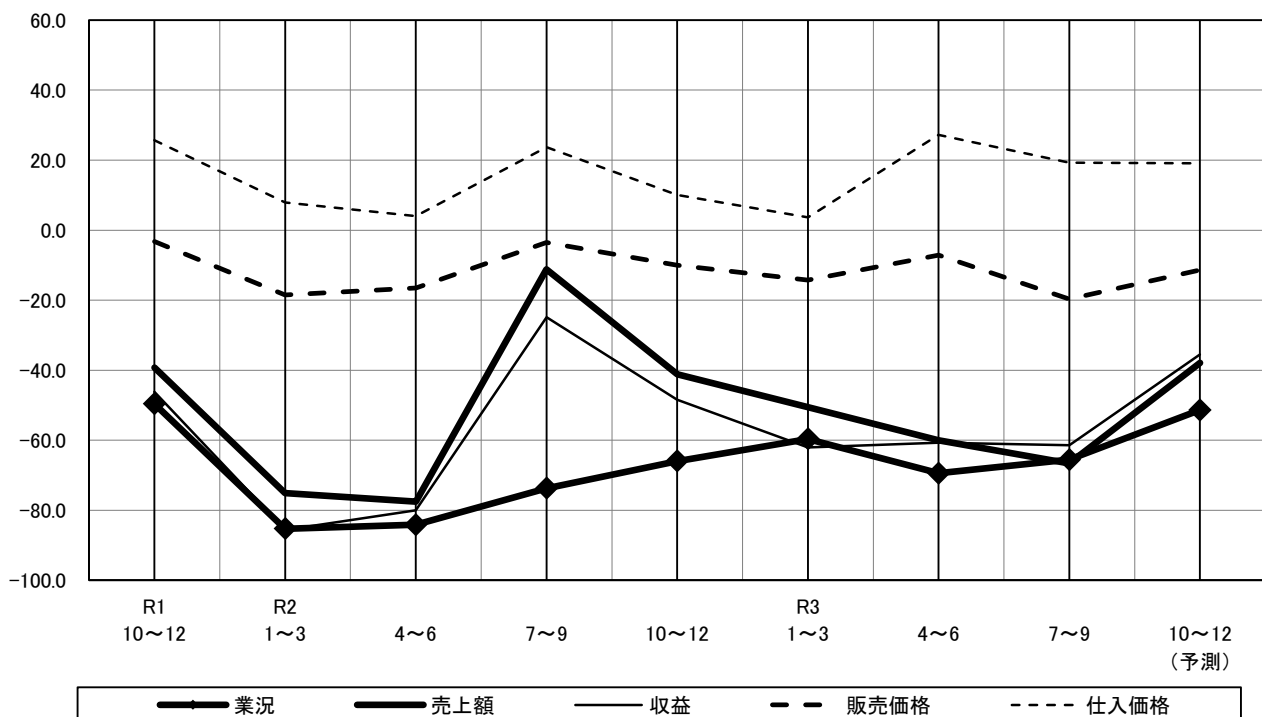
〈小売業〉 品川区と東京都の業況の動き（実績）と来期の予測



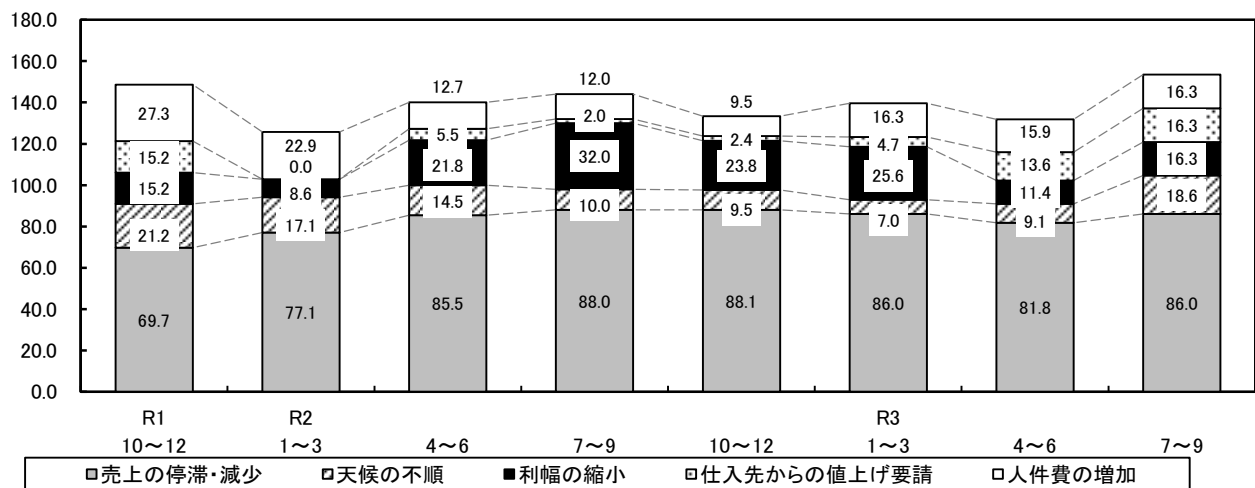
〈小売業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈小売業〉 業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

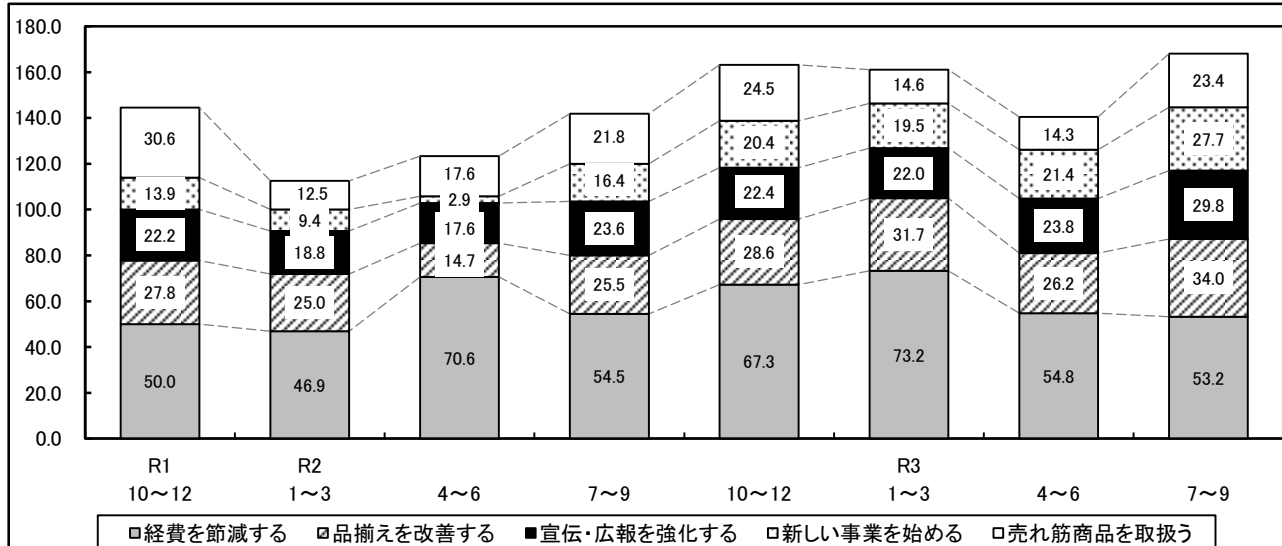


〈小売業〉 経営上の問題点（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	売上の停滞・減少	88.1 %	売上の停滞・減少	86.0 %	売上の停滞・減少	81.8 %	売上の停滞・減少	86.0 %
第2位	商店街の集客力の低下	31.0 %	利幅の縮小	25.6 %	その他	20.5 %	天候の不順	18.6 %
第3位	利幅の縮小	23.8 %	人手不足	18.6 %	同業者間の競争の激化	15.9 %	利幅の縮小	16.3 %
					人件費の増加	15.9 %	仕入先からの値上げ要請	16.3 %
							人件費の増加	16.3 %
							その他	16.3 %
第4位	取引先の減少	16.7 %	人件費の増加	16.3 %	人手不足	13.6 %	人手不足	14.0 %
					仕入先からの値上げ要請	13.6 %	取引先の減少	14.0 %
					取引先の減少	13.6 %	商店街の集客力の低下	14.0 %
第5位	人手不足	14.3 %	同業者間の競争の激化	11.6 %	利幅の縮小	11.4 %	同業者間の競争の激化	11.6 %
			取引先の減少	11.6 %				
			商店街の集客力の低下	11.6 %				

〈小売業〉 重点経営施策（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	経費を節減する	73.2 %	経費を節減する	54.8 %	経費を節減する	53.2 %	経費を節減する	48.8 %
第2位	品揃えを改善する	31.7 %	品揃えを改善する	26.2 %	品揃えを改善する	34.0 %	品揃えを改善する	25.6 %
第3位	宣伝・広報を強化する	22.0 %	宣伝・広報を強化する	23.8 %	宣伝・広報を強化する	29.8 %	宣伝・広報を強化する	23.3 %
第4位	新しい事業を始める	19.5 %	新しい事業を始める	21.4 %	新しい事業を始める	27.7 %	仕入先を開拓・選別する	20.9 %
第5位	商店街事業を活性化させる	17.1 %	店舗・設備を改装する	14.3 %	売れ筋商品を取扱う	23.4 %	新しい事業を始める	16.3 %
			営業時間を延長する	14.3 %			人材を確保する	16.3 %
			売れ筋商品を取扱う	14.3 %				

(1) 飲食料品

業況(△40→△32)はかなり改善した。売上額(△51→△43)は減少幅がかなり縮小し、収益(△60→△35)は減少幅が極端に縮小した。販売価格(△24→△16)は下降傾向がかなり弱まり、仕入価格(18→25)は上昇傾向がかなり強まった。資金繰り(△17→△35)は厳しさがかなり増した。

来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(2) 飲食店

業況(△79→△88)は低調感がかなり強まった。売上額(△62→△75)は減少幅がかなり拡大し、収益(△54→△76)は減少幅が極端に拡大した。販売価格(4→△11)は上昇から下降に転じ、仕入価格(47→35)は上昇傾向がかなり弱まった。資金繰り(△25→△30)は厳しさがやや増した。

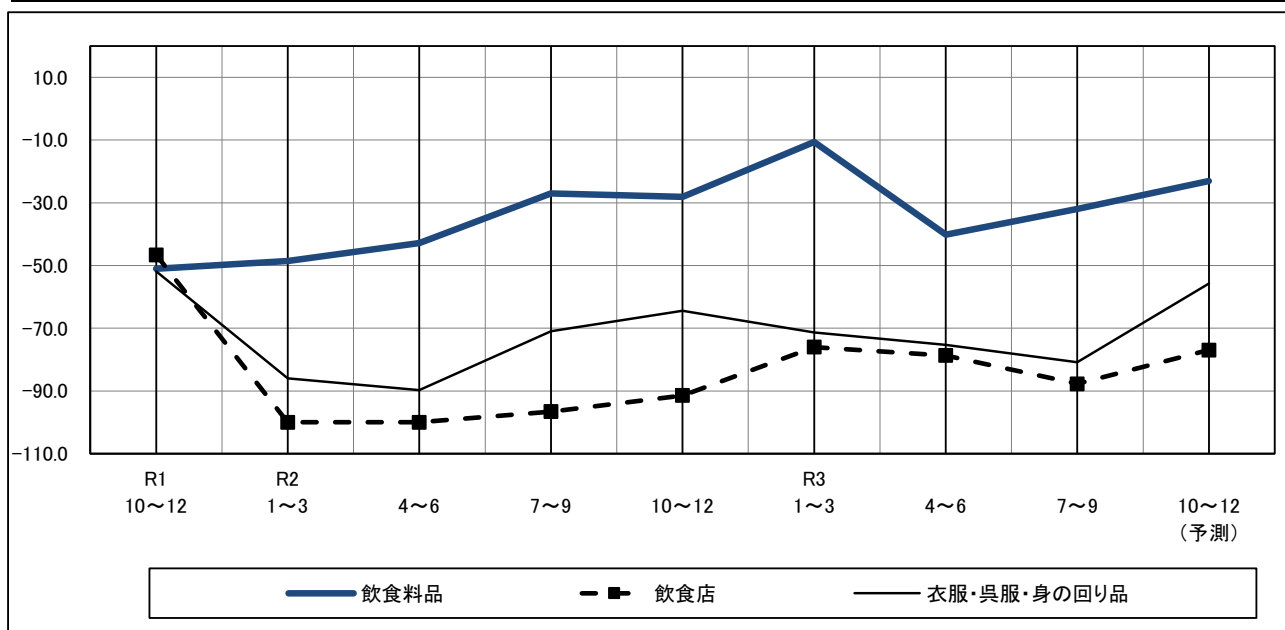
来期の業況はかなり改善すると予想されている。

(3) 衣服・呉服・身の回り品

業況(△75→△81)は低調感がかなり強まった。売上額(△66→△77)は減少幅がかなり拡大し、収益(△74→△67)は減少幅がかなり縮小した。販売価格(△13→△31)は下降傾向がかなり強まり、仕入価格(9→△2)は上昇から下降に転じた。資金繰り(△50→△48)は厳しさがやや和らいだ。

来期の業況は極端に改善すると予想されている。

〈小売業〉業種中分類別の業況の動き（実績）と来期の予測



小売業 業種別コメント

<飲食品>

1. デベロッパがいないので店舗展開ができず、事業縮小に追い込まれています。
2. 新型コロナウイルス感染症の影響で人手が少ない。
3. 酒類の販売を停止している。クリーニング取扱も 70%減少しており、コロナ禍が終わるまで続けられるか不安である。
4. 取引先が不況を理由にキャンセル、取引数量の減少があるので、今後景気がどのようになるかによって更なる減少の恐れがあることを危惧している。
5. 会社弁当やイベントの減少で売上が減少している。人件費の節減を考えているが、人数がいらないとできない商売なので悩んでいる。早く新型コロナウイルス感染症が終息して、少しでも売上が上がることを願う。資金繰りも銀行や保証協会がもう少し協力してくれるとありがたい。
6. 経費削減に努力しているが、材料費、仕入費用が値上がりしている。
7. 材料費や仕入れ費用の値上がりに対して、売価値上げしにくい。

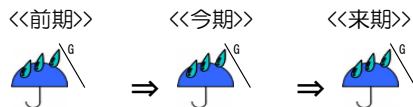
<衣服・呉服・身の回り品>

1. 新型コロナウイルス感染症による売上の減少が大きい。
2. 依頼している販売員の高齢化。
3. コロナ禍で売上 40%減少。これ以外景況を語ることはできない。

<飲食店>

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により客数が減少している。材料費の値上げ。
2. 新型コロナウイルス感染症と時短要請次第。
3. 酒類提供できないので、お客様が減少。そのため鮮魚の仕入が難しい。
4. 令和3年4月25日より9月30日まで全休です。その間売上なし。
5. 新型コロナウイルス感染症の状況次第。
6. 新型コロナウイルス感染症のため営業時間が少ない。酒類の売上がないため、売上が減少し大変です。
7. 時短要請で売上減少。

サービス業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△57→△46)はかなり改善した。売上額(△38→△39)は前期並となり、収益(△42→△38)は減少幅がやや縮小した。

なお、全都と比較した当区の業況は6ポイント下回っている。

価格・在庫動向

料金価格(△10→△4)は下降傾向がかなり弱まり、材料価格(13→19)は上昇傾向がかなり強まった。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△25→△23)は厳しさがやや和らぎ、借入難易度(1→2)は前期並となった。今期借入れをした企業は28%で前期の32%から4ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

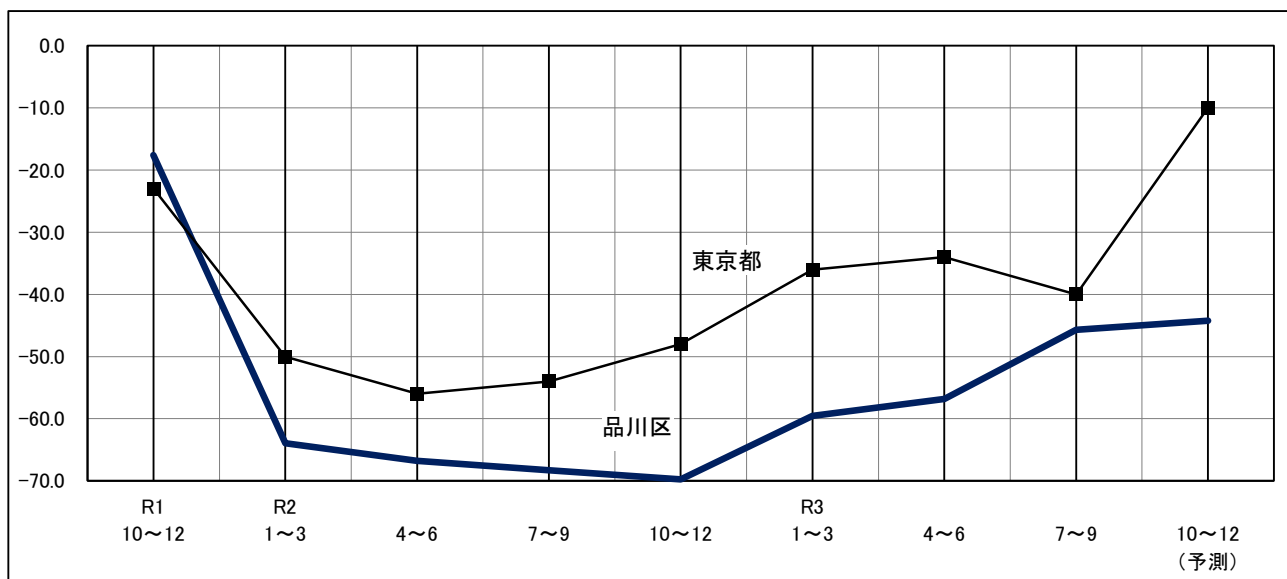
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が58%、2位は「人手不足」が33%、3位は「同業者間の競争の激化」が30%となった。前期4位だった「同業者間の競争の激化」が、今期3位と順位を上げた。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」が46%、2位は「人材を確保する」が44%、3位は「経費を節減する」が34%となった。前期2位だった「販路を広げる」が今期1位、前期3位だった「人材を確保する」が今期2位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

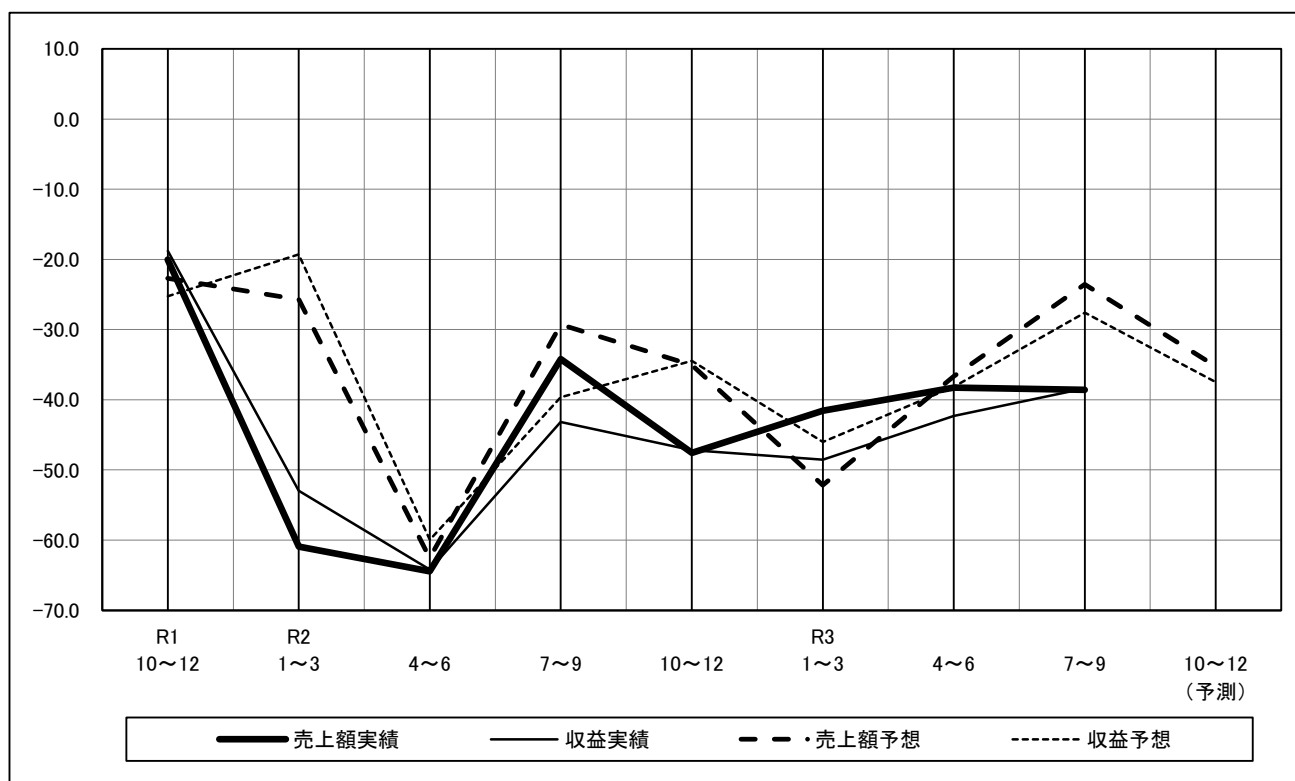
来期の見通し

業況(△46→△44)はやや改善する見込み。売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期並になると予想されている。

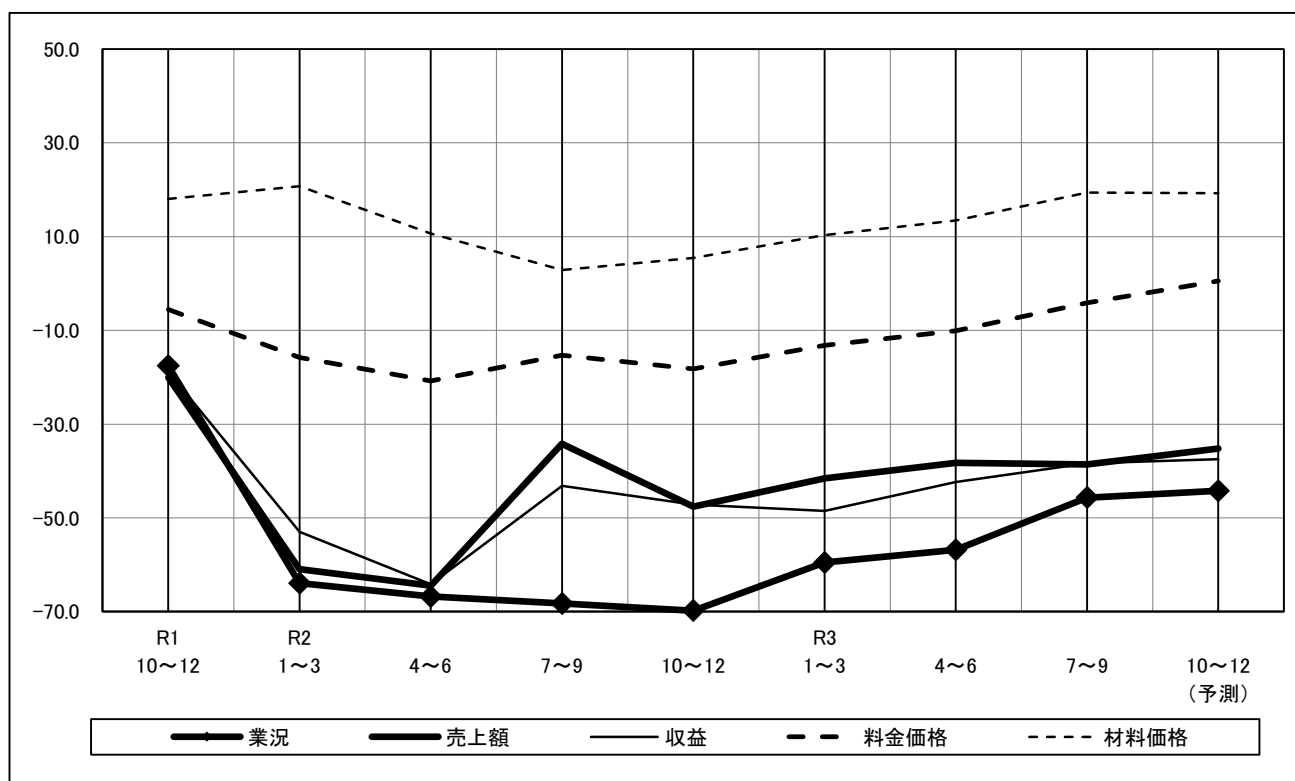
〈サービス業〉品川区と東京都の業況の動き(実績)と来期の予測



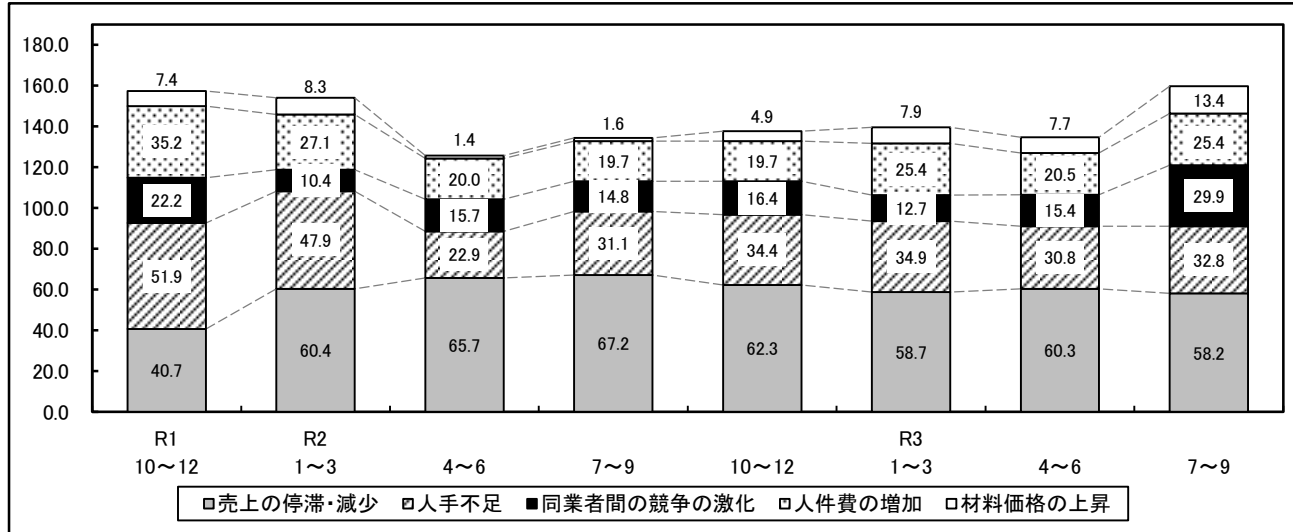
〈サービス業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈サービス業〉 業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

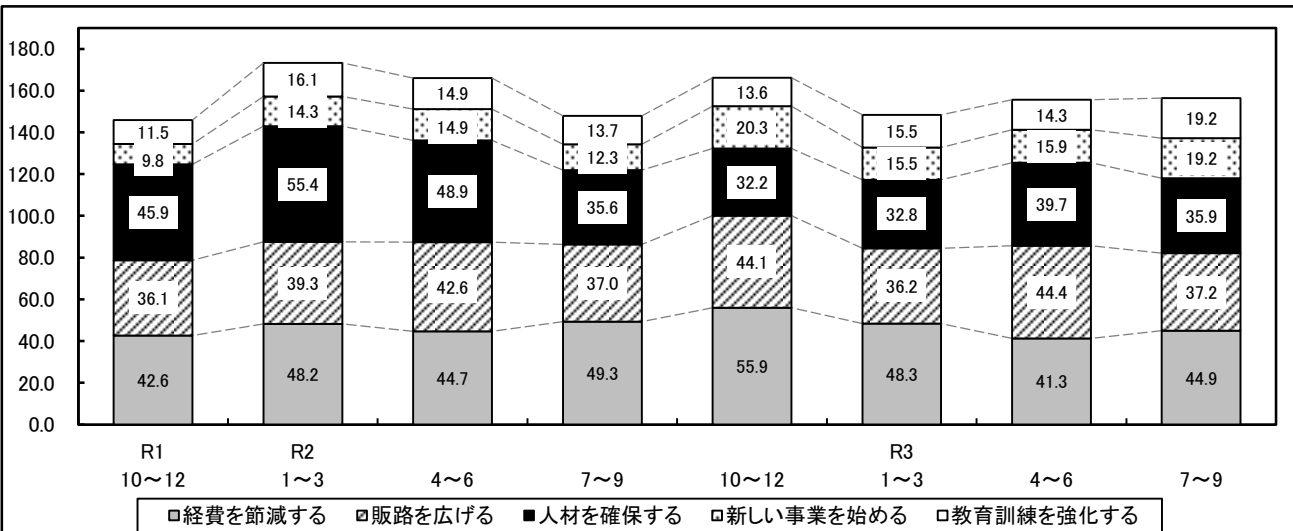


〈サービス業〉 経営上の問題点（％）



	R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期	
第1位	売上の停滞・減少	62.3 %	売上の停滞・減少	58.7 %	売上の停滞・減少	60.3 %	売上の停滞・減少	58.2 %
第2位	人手不足	34.4 %	人手不足	34.9 %	人手不足	30.8 %	人手不足	32.8 %
第3位	人件費の増加	19.7 %	人件費の増加	25.4 %	人件費の増加	20.5 %	同業者間の競争の激化	29.9 %
第4位	利幅の縮小	18.0 %	利幅の縮小	22.2 %	同業者間の競争の激化	15.4 %	人件費の増加	25.4 %
第5位	同業者間の競争の激化	16.4 %	取引先の減少	17.5 %	利幅の縮小	14.1 %	材料価格の上昇	13.4 %

〈サービス業〉 重点経営施策（％）



	R2.10~12月期		R3.1~3月期		R3.4~6月期		R3.7~9月期	
第1位	経費を節減する	48.3 %	販路を広げる	44.4 %	経費を節減する	44.9 %	販路を広げる	45.6 %
第2位	販路を広げる	36.2 %	経費を節減する	41.3 %	販路を広げる	37.2 %	人材を確保する	44.1 %
第3位	人材を確保する	32.8 %	人材を確保する	39.7 %	人材を確保する	35.9 %	経費を節減する	33.8 %
第4位	技術力を強化する	17.2 %	技術力を強化する	20.6 %	新しい事業を始める 教育訓練を強化する	19.2 % 19.2 %	新しい事業を始める	22.1 %
第5位	新しい事業を始める 教育訓練を強化する	15.5 % 15.5 %	新しい事業を始める	15.9 %	技術力を強化する	17.9 %	技術力を強化する	20.6 %

サービス業 業種別コメント

1. 人件費の値上がりが景気に伴わない。
2. 先が見えない。顧客も動かないので、この先難しい。
3. 昨年から開店休業状態です。
4. 取引先からの需要が少ない。
5. 取引先側の経費節減により、今まで受注できていた仕事の規模が縮小し、前期より苦しい状況となっている。
6. 新型コロナウイルス感染症の感染者数に売上が左右される。
7. 人材不足で売上減少が続く。
8. 来場者増、増収増益。人出不足。
9. 現状でもとりあえず利益は出せているが、さらに仕事は増やしたい。増やしたいが安い仕事は受けたくない。大手リース会社と価格交渉も含め話がしたいが、新型コロナウイルス感染症で先方と会えない状況が続いている。
10. 新型コロナウイルス感染症の影響は大きくないが、事業の成長性が鈍化しており、新規の営業強化が必要とされる。
11. 厳しい状況が続いております。
12. 同業者との競合が激化しており、差別化を図るため、新たなサービス展開ややり方が必要と考えている。
13. 新型コロナウイルス感染症の影響により、得意先がまだ持ち直しができていなく、先行きの見通しがまだきかない状況。
14. コロナ禍で新規の取引先の開拓は難航しているが、既存のお客様との取引は充実している。
15. 人材不足が大きいです。
16. イベント実施に対して緩和対策が行われ、案件の受注が2021年に入り増えてきた。またキャンセルなども減少し先が見えない不安がなくなりつつある。
17. 大型イベントはどうしても時世に従わざるをえない。ワクチン普及等のウィズコロナ時代まで企業がどう生き残るかが課題です。
18. 飲食業なので緊急事態宣言が出ている間、大学の学食や学校給食に大きな影響が出ています。宴会場も飲食を伴う会合ができず困っています。早く規制がなくなる事を期待しています。最低賃金の値上げや食材の値上げも経営を圧迫しています。
19. かなり厳しい。
20. 受注量が確保できており、売上利益は計画達成見込みである。人材の確保と入手困難部品が問題となっている。
21. 新型コロナウイルス感染症の影響で、全く先が読めない。
22. 売上が上がってきている。採用がうまくいっている。
23. 大口取引先との取引拡大は続いているが、他取引先との取引が伸びていない。立替金の金額増加と回収率が下降トレンドで資金繰りが厳しくなっている。
24. 人材不足の解消。定着するよう、状況に合わせ対応する。
25. コロナ禍で、引き続き厳しい。

建設業



() は、前期→今期

売上・収益の動向と業況判断

業況(△42→△44)は前期並となった。売上額(△32→△39)は減少幅がかなり拡大し、施工高(△36→△37)は前期並となった。収益(△41→△36)は減少幅がやや縮小した。

価格・在庫動向

請負価格(△17→△23)は下降傾向がかなり強まり、材料価格(34→34)は前期から変動がなかった。在庫(7→3)は過剰感がやや改善した。

資金繰り・借入金動向

資金繰り(△26→△29)は厳しさがやや増し、借入難易度(△3→△5)はやや悪化した。今期借入れをした企業は31%で前期の36%から5ポイント減少した。

経営上の問題点・重点経営施策

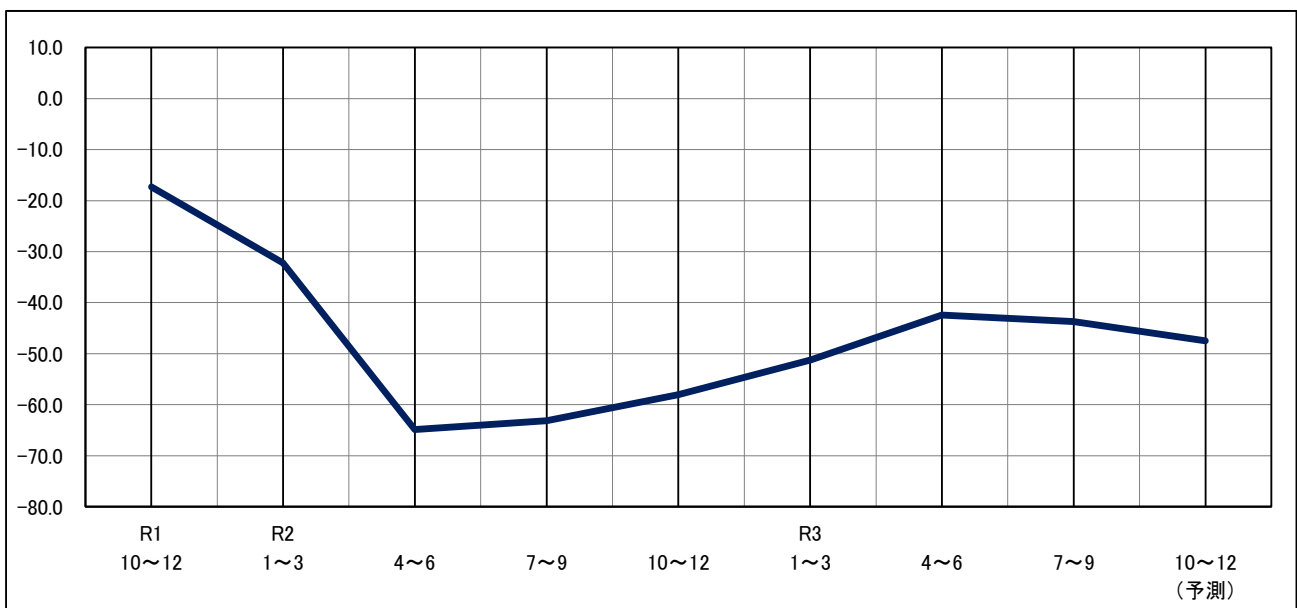
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」が47%、2位は「人手不足」が43%、3位は「利幅の縮小」が25%となった。前期3位だった「人手不足」が、今期2位と順位を上げたが、上位の項目には入替がなかった。

重点経営施策は、1位は「人材を確保する」が46%、2位は「経費を節減する」が34%、3位は「販路を広げる」が26%となった。前期3位だった「技術力を高める」が、今期5位と順位を下げたが、他の上位3項目には入替がなかった。

来期の見通し

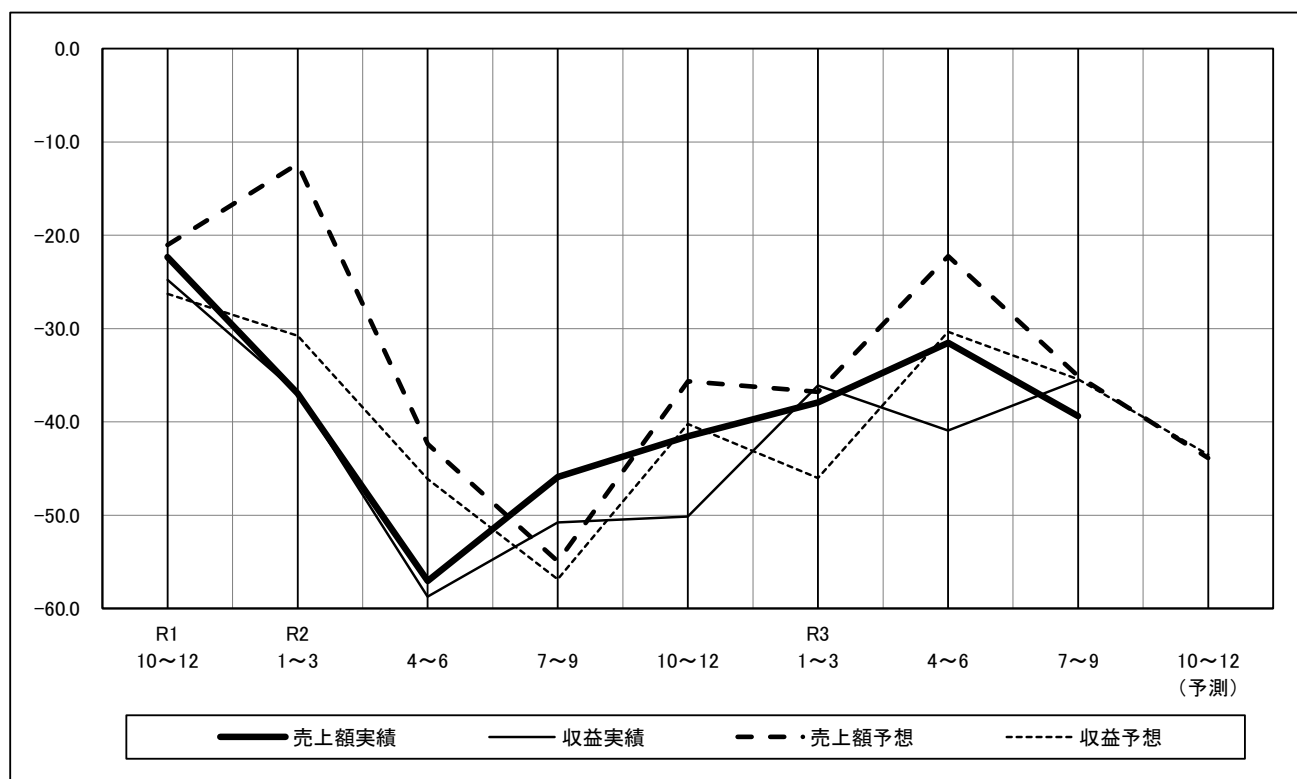
業況(△44→△48)は低調感がやや強まる見込み。売上額は減少幅がやや拡大し、収益は減少幅がかなり拡大すると予想されている。

＜建設業＞ 品川区の業況の動き（実績）と来期の予測

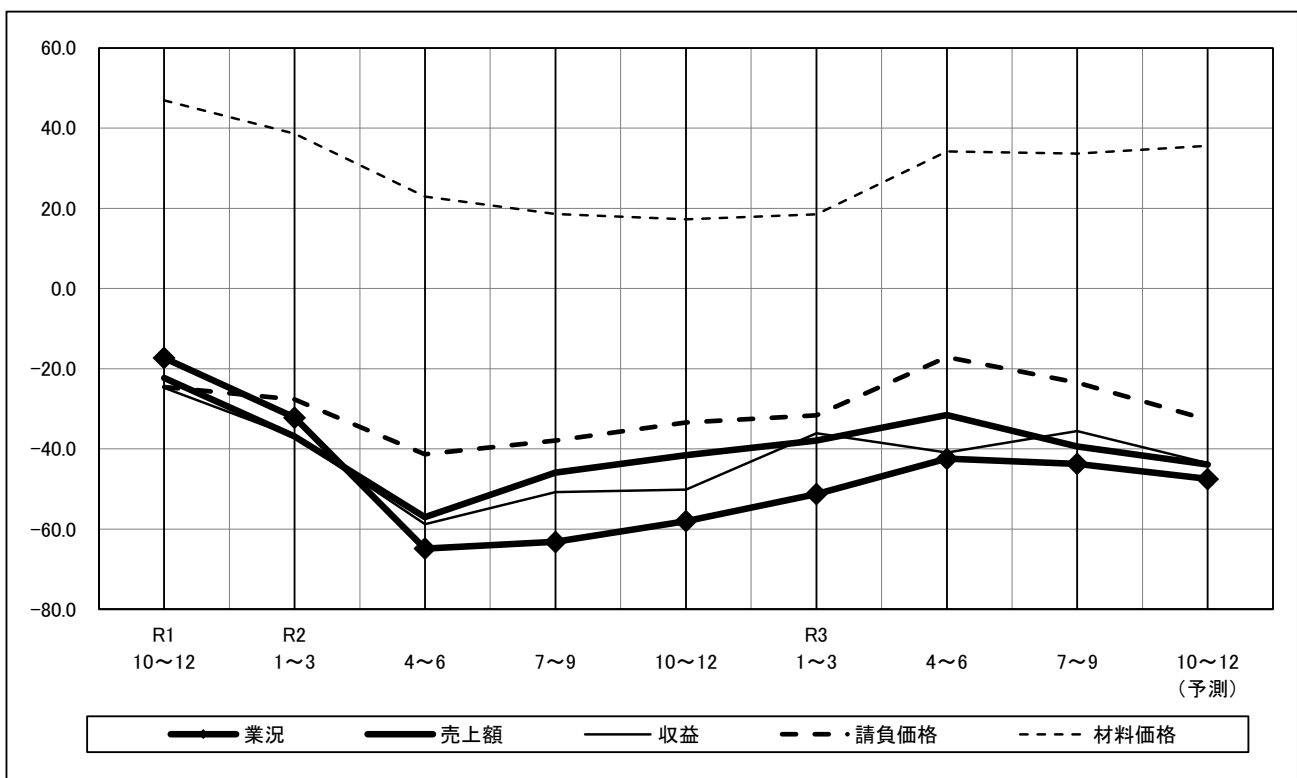


※ 東京都の景況調査では建設業の調査は実施されていないため、全都の建設業の業況は表示していない。

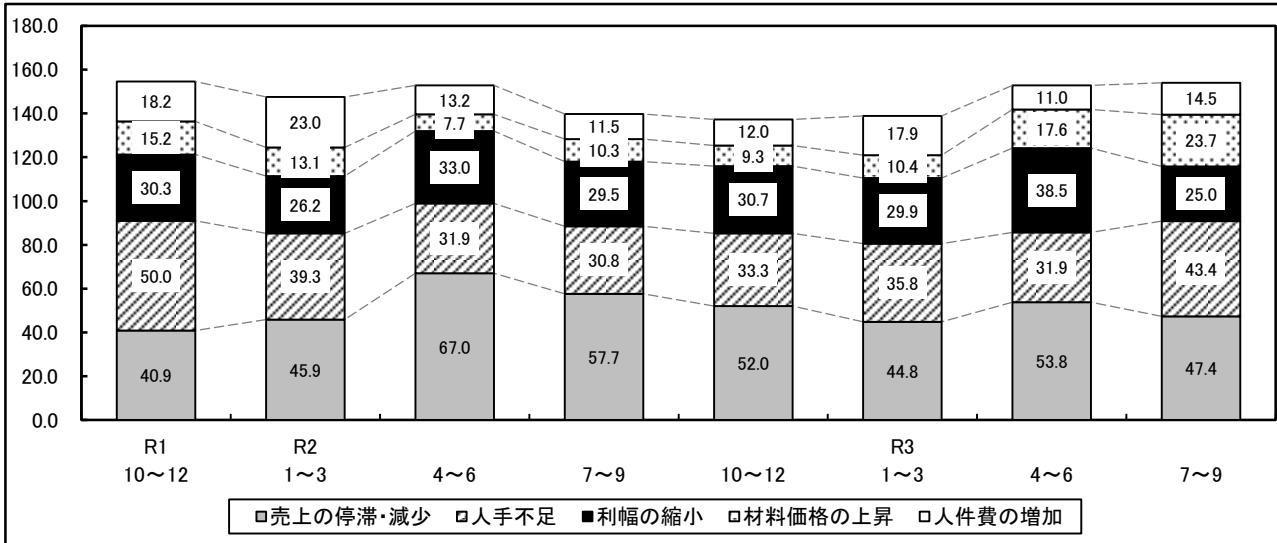
〈建設業〉 売上額・収益の実績と予想の推移



〈建設業〉 業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

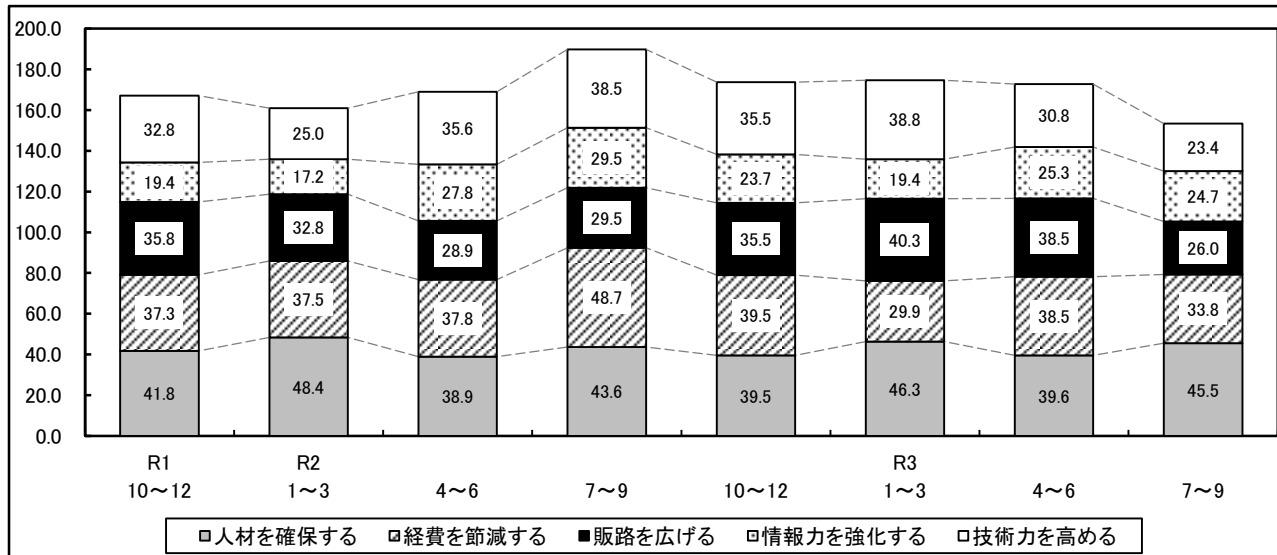


〈建設業〉 経営上の問題点（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	売上停滞・減少	52.0 %	売上停滞・減少	44.8 %	売上停滞・減少	53.8 %	売上停滞・減少	47.4 %
第2位	人手不足	33.3 %	人手不足	35.8 %	利幅の縮小	38.5 %	人手不足	43.4 %
第3位	利幅の縮小	30.7 %	利幅の縮小	29.9 %	人手不足	31.9 %	利幅の縮小	25.0 %
第4位	下請の確保難	21.3 %	下請の確保難	25.4 %	材料価格の上昇	17.6 %	材料価格の上昇	23.7 %
第5位	技術力の不足	18.7 %	人件費の増加	17.9 %	同業者間の競争の激化	15.4 %	人件費の増加	14.5 %

〈建設業〉 重点経営施策（％）



	R2.10～12月期		R3.1～3月期		R3.4～6月期		R3.7～9月期	
第1位	経費を節減する	39.5 %	人材を確保する	46.3 %	人材を確保する	39.6 %	人材を確保する	45.5 %
	人材を確保する	39.5 %						
第2位	技術力を高める	35.5 %	販路を広げる	40.3 %	販路を広げる	38.5 %	経費を節減する	33.8 %
	販路を広げる	35.5 %			経費を節減する	38.5 %		
第3位	情報力を強化する	23.7 %	技術力を高める	38.8 %	技術力を高める	30.8 %	販路を広げる	26.0 %
第4位	労働条件を改善する	11.8 %	経費を節減する	29.9 %	情報力を強化する	25.3 %	情報力を強化する	24.7 %
	新しい事業を始める	11.8 %						
第5位	教育訓練を強化する	10.5 %	情報力を強化する	19.4 %	教育訓練を強化する	9.9 %	技術力を高める	23.4 %
	特になし	10.5 %			特になし	9.9 %		

建設業 業種別コメント

1. 新型コロナウイルス感染症の影響なく順調。
2. 下請の職人さんの高齢化による人材不足。
3. コロナ禍で案件減少の中、材料高等で利益率が下がる。
4. 大手ゼネコンに監督として派遣しているので、景気に左右されない。本来の事業（大工・墨出し業）は現在行っていない。
5. 事業継承の準備等でまだ具体的に次の展開へ進めていない。来期までに事業展開の準備中。
6. 天候に左右される業種のため、悪い天候が続くと困る。
7. 売上が減少傾向にあり、収益が難しい。
8. 公共工事（土木）が減少しているなか、秋以降東北方面で民間の大型工事を予定している。
9. 建設物件が少ないため、大手ゼネコンが低価格にて仕事を取っている状況が見られる。下請け業者の単価が下がる。
10. 新型コロナウイルス感染症の影響で発注者の業績悪化に伴い発注量が減り、売上減少が続いている。
11. 新型コロナウイルス感染症の終わりが来てほしい。
12. 今のところ変わらず。
13. 市場により材料、建材、労働賃金の高騰、改正期間が年内、年明けに予定されているため、今後の見積が入れ難い傾向である。新型コロナウイルス感染症が落ち着いた後、企業が施設、サービスに事業計画の見直しとして資金投入するかが課題である。
14. 受注減。自分自身でやるリフォームが増加しているようす。
15. 材料が品薄で手に入りにくく、価格がどんどん上がっている。
16. 仕事量が少ないので売上伸びず。
17. 新型コロナウイルス感染症の終息見込みがないまま、資金繰り等厳しい環境が改善されていない。
18. 受注はあるが人材不足で断る案件がある。
19. 材料価格、特に鉄骨が上がり、利幅の縮小があります。
20. 請負先の建設会社自体の受注が減少している。
21. 人材不足のため受注できない仕事が増えている。
22. 時間外労働削減に取り組んでいるが、人材不足でなかなかうまくいかない。
23. 新型コロナウイルス感染症が要因で解決のメドが立たず、業務面も自宅待機等、作業がスムーズにいかない。
24. 受注増の中、人出不足になっている。
25. 今期前半に予想外の受注、施工が集中し利益を大幅に押し上げたが、これはスポット的現象であり、来期も続くことはあり得ないと推測している。
26. 売上が減少している。
27. 人材不足。技術力を高めたい。
28. ビル建て替え決定となる。対応を検討中。
29. 人材確保。今後の教育に問題あり（特にパソコン指導）。
30. 技術者不足が続いており、受注を増やすことができていない。
31. 人出不足により仕事量がこなせず利益が薄い。
32. 下請含む作業員単価は上げ止まりしているが、上位企業からの請負単価は下落傾向にあり、受注するのが厳しい。
33. 人材不足による作業効率の悪化。
34. 新型コロナウイルス感染症に完敗状態。
35. 人員を増員したが、売上が対応していないので、それに見合った売上を伸ばす方策を検討している。
36. 新型コロナウイルス感染症による経済の停滞により、受注がやや減少している。
37. 電鉄、ホテル等の売上減少傾向である。
38. 新型コロナウイルス感染症が終わるまでは売上減少。

日銀短観

[調査対象企業数]

(2021年9月調査)

	製造業	非製造業	合計	回答率
全国企業	3,872社	5,488社	9,360社	99.3%
うち大企業	984社	884社	1,868社	98.9%
中堅企業	1,008社	1,619社	2,627社	99.4%
中小企業	1,880社	2,985社	4,865社	99.5%

(参考)事業計画の前提となっている想定為替レート(全規模・全産業)

		2020年度			2021年度		
		上期		下期	上期		下期
円/ドル	2021年6月調査	106.82	107.04	106.61	106.71	106.70	106.71
	2021年9月調査	—	—	—	107.64	107.64	107.64
円/ユーロ	2021年6月調査	122.58	121.25	123.90	125.27	125.28	125.26
	2021年9月調査	—	—	—	126.50	126.67	126.33

[売上高・収益計画]

(前年度比・%)

		2020年度		2021年度	
		修正率		(計画)	
		修正率		修正率	
大企業	製造業	-7.8	—	7.6	1.6
	国内	-7.2	—	5.6	0.8
	輸出	-9.0	—	12.0	3.2
	非製造業	-9.0	—	0.3	-0.1
		-8.5	—	3.4	0.7
中堅企業	製造業	-6.4	—	7.1	1.1
	非製造業	-6.9	—	2.5	-0.3
	全産業	-6.8	—	3.6	0.1
中小企業	製造業	-7.7	—	5.4	1.4
	非製造業	-7.0	—	1.7	0.0
	全産業	-7.2	—	2.5	0.3
全規模合計	製造業	-7.6	—	7.1	1.5
	非製造業	-7.9	—	1.3	-0.1
	全産業	-7.8	—	3.2	0.4

(注) 修正率・幅は、前回調査との対比。

[業況判断]

(「良い」-「悪い」・%ポイント)

	2021年6月調査			2021年9月調査		
	最近	先行き	最近	変化幅	先行き	変化幅
大企業						
製 造 業	14	13	18	4	14	-4
非製造業	1	3	2	1	3	1
全 産 業	8	8	10	2	9	-1
中堅企業						
製 造 業	5	-1	6	1	3	-3
非製造業	-8	-8	-6	2	-7	-1
全 産 業	-3	-5	-1	2	-4	-3
中小企業						
製 造 業	-7	-6	-3	4	-4	-1
非製造業	-9	-12	-10	-1	-13	-3
全 産 業	-8	-10	-8	0	-10	-2
全規模合計						
製 造 業	2	0	5	3	2	-3
非製造業	-7	-9	-7	0	-8	-1
全 産 業	-3	-5	-2	1	-5	-3

[需給・在庫・価格判断]

(%ポイント)

		2021年6月調査		2021年9月調査			
		最近		最近		先行き	
				変化幅		変化幅	
国内での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-21	-21	-17	4	-16	1
	うち素材業種	-23	-23	-18	5	-17	1
	加工業種	-18	-19	-16	2	-16	0
	非製造業	-22	-22	-20	2	-20	0
海外での製商品・サービス需給判断 (「需要超過」-「供給超過」)	製造業	-9	-10	-7	2	-6	1
	うち素材業種	-12	-13	-9	3	-7	2
	加工業種	-8	-9	-6	2	-6	0
製商品在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	10	11	1	1	1	1
	うち素材業種	9	10	1	1	1	1
	加工業種	11	11	0	0	0	0
製商品流通在庫水準判断 (「過大」-「不足」)	製造業	8	7	-1	-1	-1	-1
	うち素材業種	10	9	-1	-1	-1	-1
	加工業種	7	5	-2	-2	-2	-2
販売価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	5	8	9	4	14	5
	うち素材業種	15	19	19	4	24	5
	加工業種	-2	1	2	4	7	5
	非製造業	-1	0	1	2	3	2
仕入価格判断 (「上昇」-「下落」)	製造業	43	45	50	7	51	1
	うち素材業種	49	47	53	4	50	-3
	加工業種	39	43	48	9	50	2
	非製造業	25	28	29	4	31	2

東京都と品川区の企業倒産動向（令和3年9月）

1. 東京都の倒産概況

(単位: 件・億円)

	令和2年9月	令和3年8月	令和3年9月	前月比	前年同月比
件数	106	86	92	6	▲14
金額	145	240	224	▲16	79

2. 原因別倒産動向

(単位: 件・億円)

放漫経営		過小資本		他社倒産の余波		既往のしわ寄せ		販売不振	
9	123.0	1	0.1	9	26.9	13	14.4	56	50.2
売掛金回収難		信用性低下		在庫状態悪化		設備投資過大		その他	
0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	7.5	3	2.8

3. 業種別倒産動向

(単位: 件・億円)

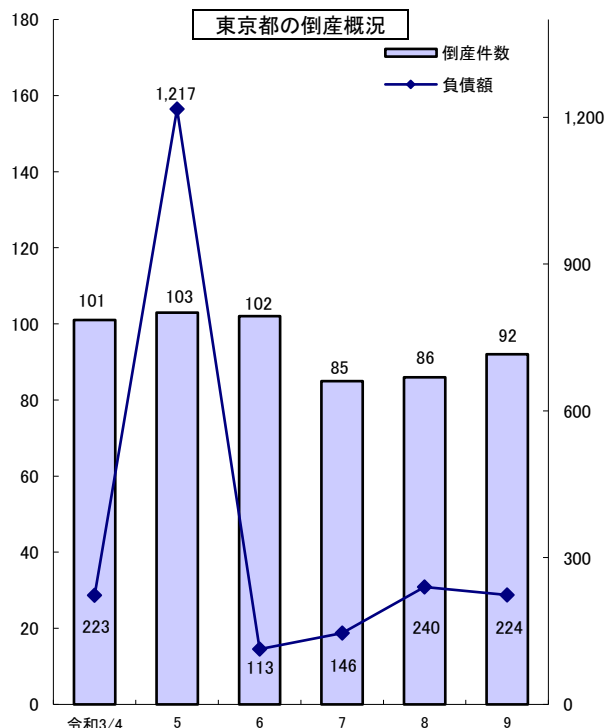
	件数			金額		
	前年同月	前月	当月	前年同月	前月	当月
製造業	8	6	9	37	62	12
卸売業	19	17	15	27	20	22
小売業	13	12	8	13	31	18
サービス業	23	14	24	12	9	144
建設業	8	9	6	2	20	4
不動産業	6	5	7	17	12	4
情報通信業・運輸業	9	15	14	7	40	15
宿泊業・飲食サービス業	17	4	3	24	11	1
その他	3	4	6	3	36	4
合計	106	86	92	145	240	224

4. 品川区内の令和3年9月の倒産動向

業種	件数	負債総額
製造業	0件	0百万円
卸売業	0件	0百万円
小売業	1件	500百万円
サービス業	1件	30百万円
建設業	0件	0百万円
不動産業	0件	0百万円
情報通信業・運輸業	0件	0百万円
宿泊業・飲食サービス業	0件	0百万円
その他	0件	0百万円
合計	2件	530百万円

(件数)

(億円)



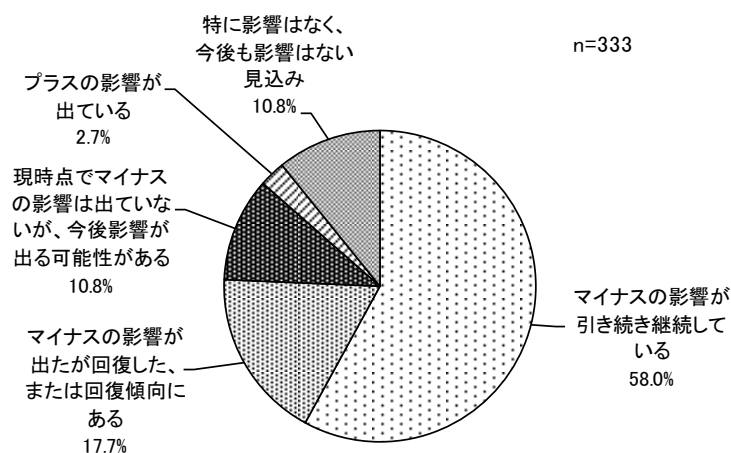
特別調査「新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響とデジタル化について」

- ① 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、「マイナスの影響が引き続き継続している」が58.0%で最多
- ② 事業継続上の懸念事項等については、「先行き不透明により計画の策定が困難」が46.8%で最多
- ③ デジタル化に対する取り組み状況については、「取り組む予定はない」が48.8%で最多
- ④ デジタル化の取り組み内容については、「テレワークの導入」が50.7%で最多
- ⑤ デジタル化推進の課題については、「活用できることが少ない」が39.0%で最多

問1. 新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響

新型コロナウイルス感染拡大長期化による影響については、全体では「マイナスの影響が引き続き継続している」が58.0%と最も多く、前回の4～6月期からやや増加した。次いで「マイナスの影響が出たが回復した、または回復傾向にある」が17.7%、「現時点でマイナスの影響は出ていないが、今後影響が出る可能性がある」と「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」がともに10.8%と続いた。

業種別では、すべての業種において「マイナスの影響が引き続き継続している」に回答が集中していることを示す結果となった。「特に影響はなく、今後も影響はない見込み」と回答した割合が高い業種は、建設業が15.4%、製造業が13.8%となり、他の業種では1割に満たなかった。なお、「マイナスの影響が引き続き継続している」と回答した企業の割合が最も多いのは小売業の79.5%、最も少ないのは建設業の41.0%で、業種間の差は38.5ポイントとなっている。



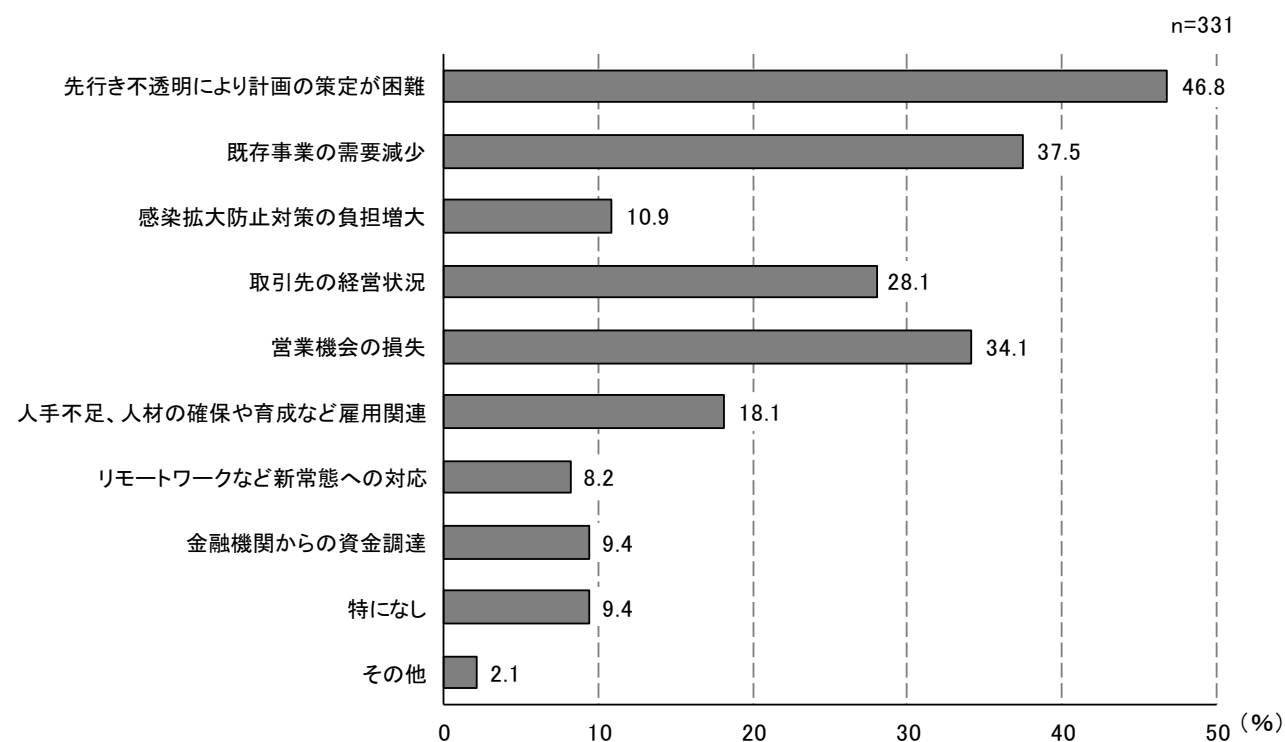
(単位：%)

	マイナスの影響 が引き続き継続 している	マイナスの影響 が出たが回復し た、または回復 傾向にある	現時点でマイナ スの影響は出て いないが、今後 影響が出る可能 性がある	プラスの影響が 出ている	特に影響はな く、今後も影響 はない見込み
全 体 (333) 件	58.0	17.7	10.8	2.7	10.8
製 造 業 (65) 件	63.1	16.9	6.2	0.0	13.8
卸 売 業 (78) 件	61.5	21.8	5.1	2.6	9.0
小 売 業 (44) 件	79.5	2.3	9.1	2.3	6.8
サービス業 (68) 件	54.4	19.1	10.3	8.8	7.4
建 設 業 (78) 件	41.0	21.8	21.8	0.0	15.4

問2. 事業継続上の懸念事項等

事業継続上の懸念事項等については、全体では「先行き不透明により計画の策定が困難」が46.8%と最も多く、次いで「既存事業の需要減少」が37.5%、「営業機会の損失」が34.1%と続き、上位項目は前期から変動がなかった。

業種別では、製造業を除いた業種では「先行き不透明により計画の策定が困難」が最も高く、製造業では「既存事業の需要減少」が最も高くなっている。また、卸売業においては「営業機会の損失」が46.8%、サービス業と建設業では「人手不足、人材の確保や育成など雇用関連」が3割前後と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



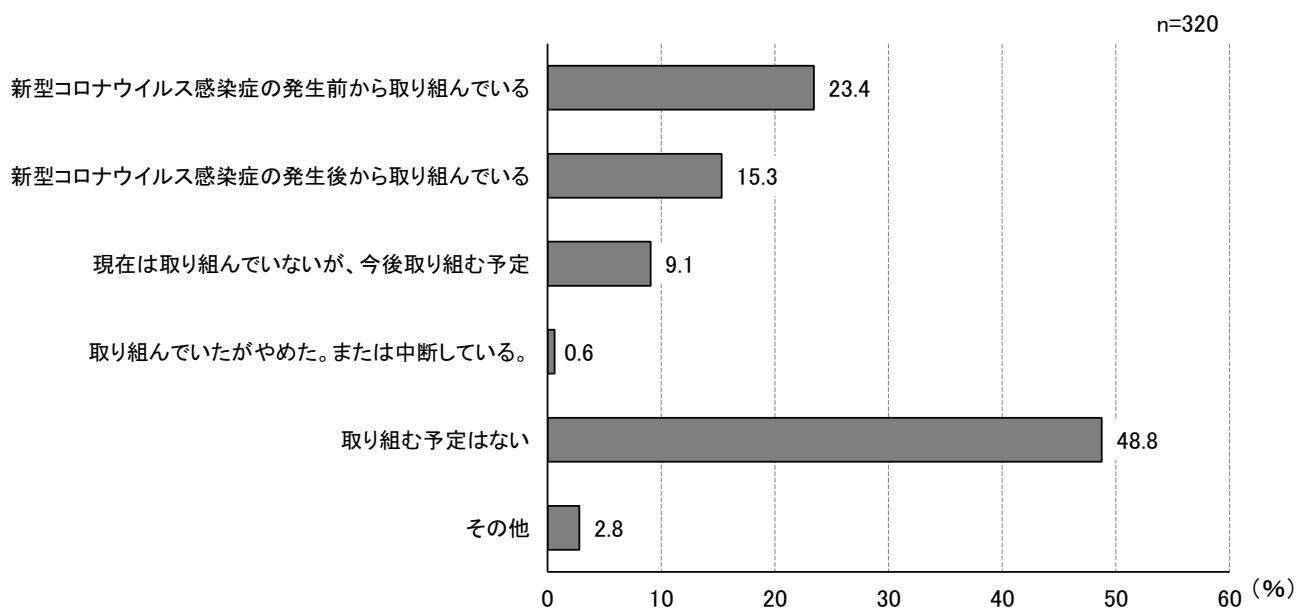
(単位: %)

	先行き不透明により計画の策定が困難	既存事業の需要減少	感染拡大防止対策の負担増大	取引先の経営状況	営業機会の損失	人手不足、人材の確保や育成など雇用関連	リモートワークなど新常態への対応	金融機関からの資金調達	特になし	その他
全 体 (331) 件	46.8	37.5	10.9	28.1	34.1	18.1	8.2	9.4	9.4	2.1
製 造 業 (65) 件	40.0	44.6	6.2	26.2	29.2	4.6	3.1	7.7	15.4	1.5
卸 売 業 (77) 件	51.9	48.1	7.8	40.3	46.8	10.4	14.3	13.0	6.5	1.3
小 売 業 (44) 件	65.9	38.6	18.2	15.9	36.4	11.4	2.3	9.1	2.3	4.5
サービス業 (67) 件	46.3	31.3	13.4	34.3	32.8	32.8	9.0	4.5	6.0	3.0
建 設 業 (78) 件	37.2	25.6	11.5	19.2	25.6	28.2	9.0	11.5	14.1	1.3

問3. デジタル化に対する取り組み状況

デジタル化に対する取り組み状況については、「取り組む予定はない」が48.8%と最も多く、次いで「新型コロナウイルス感染症の発生前から取り組んでいる」が23.4%、「新型コロナウイルス感染症の発生後から取り組んでいる」が15.3%と続いた。

業種別では、すべての業種において「取り組む予定はない」が最も高く、製造業（57.1%）と建設業（53.3%）では5割を超えて特に高くなっている。また、卸売業では「新型コロナウイルス感染症の発生後から取り組んでいる」が23.4%、小売業とサービス業では「現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定」が1割超と、他の業種よりも回答割合が高くなっている。



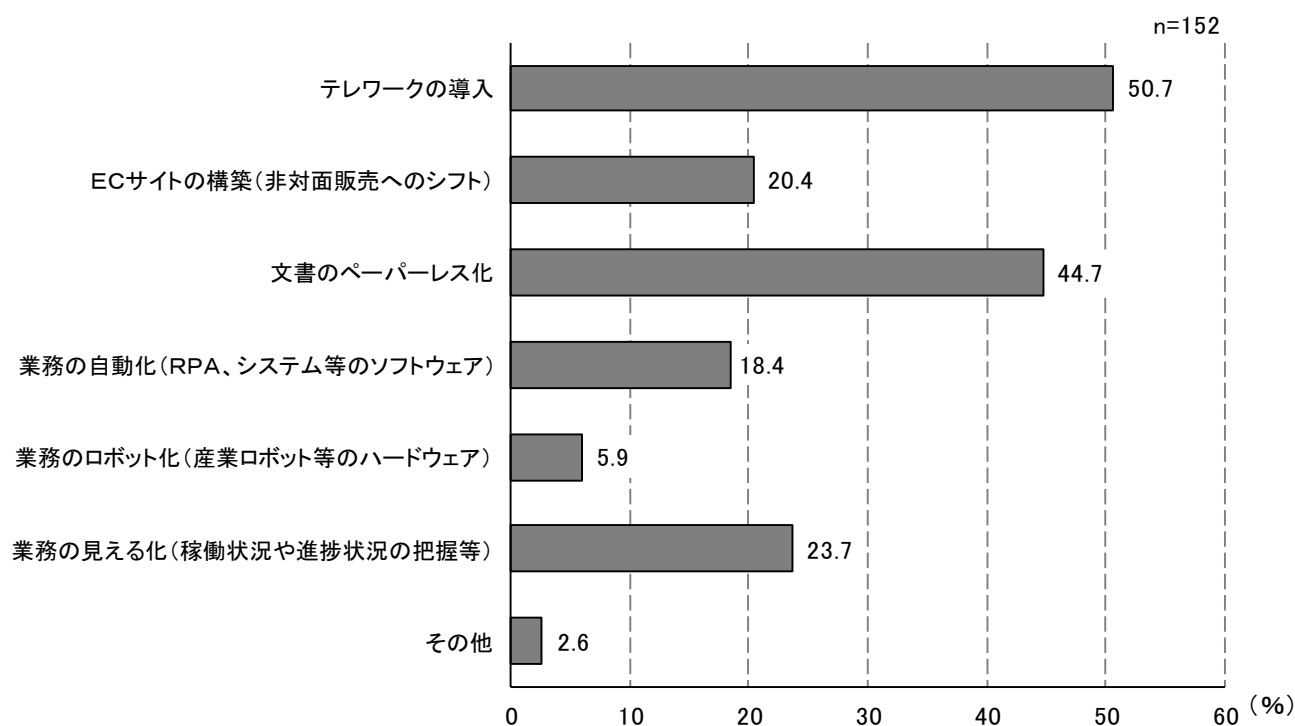
(単位: %)

	新型コロナウイルス感染症の発生前から取り組んでいる	新型コロナウイルス感染症の発生後から取り組んでいる	現在は取り組んでいないが、今後取り組む予定	取り組んでいたがやめた。または中断している。	取り組む予定はない	その他
全 体 (320) 件	23.4	15.3	9.1	0.6	48.8	2.8
製 造 業 (63) 件	22.2	12.7	4.8	3.2	57.1	0.0
卸 売 業 (77) 件	19.5	23.4	9.1	0.0	44.2	3.9
小 売 業 (39) 件	25.6	7.7	15.4	0.0	43.6	7.7
サービス業 (66) 件	28.8	16.7	10.6	0.0	43.9	0.0
建 設 業 (75) 件	22.7	12.0	8.0	0.0	53.3	4.0

問4. デジタル化の取り組み内容

問3で「デジタル化の取り組みを実施している」または「今後取り組む予定」と回答した企業における、デジタル化の取り組み内容については、「テレワークの導入」が50.7%と最も多く、次いで「文書のペーパーレス化」が44.7%、「業務の見える化（稼働状況や進捗状況の把握等）」が23.7%と続いた。

業種別にみると、製造業、卸売業、建設業では「テレワークの導入」が最も高く、小売業では「ECサイトの構築（非対面販売へのシフト）」が最も高くなっている。サービス業では「テレワークの導入」と「文書のペーパーレス化」が最も高くなっている。建設業では「業務の自動化（RPA、システム等のソフトウェア）」が30.0%、製造業では「業務のロボット化（産業ロボット等のハードウェア）」と「業務の見える化（稼働状況や進捗状況の把握等）」が、他の業種と比較して10ポイント以上高くなっている。



(単位：%)

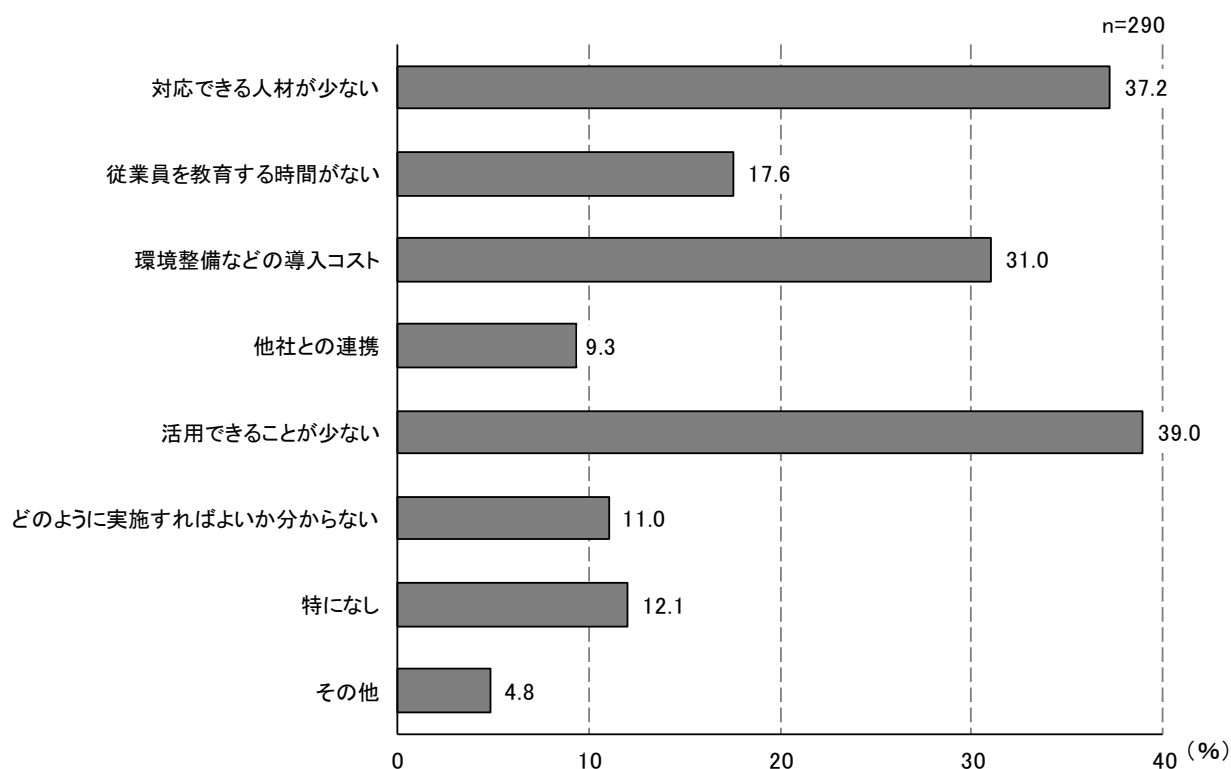
	テレワークの導入	ECサイトの構築 (非対面販売へのシフト)	文書のペーパーレス化	業務の自動化 (RPA、システム等のソフトウェア)	業務のロボット化 (産業ロボット等のハードウェア)	業務の見える化 (稼働状況や進捗状況の把握等)	その他
全 体 (152) 件	50.7	20.4	44.7	18.4	5.9	23.7	2.6
製 造 業 (26) 件	42.3	23.1	30.8	23.1	23.1	34.6	7.7
卸 売 業 (40) 件	60.0	32.5	47.5	12.5	0.0	17.5	0.0
小 売 業 (19) 件	26.3	31.6	26.3	21.1	10.5	21.1	5.3
サービス業 (37) 件	59.5	10.8	59.5	10.8	2.7	24.3	2.7
建 設 業 (30) 件	50.0	6.7	46.7	30.0	0.0	23.3	0.0

問5. デジタル化推進の課題

デジタル化推進の課題については、「活用できることが少ない」が39.0%と最も多く、次いで「対応できる人材が少ない」が37.2%、「環境整備などの導入コスト」が31.0%と続いた。

業種別にみると、小売業と建設業では「活用できることが少ない」が最も高く、製造業、卸売業、サービス業では「対応できる人材が少ない」が最も高くなっている。また、卸売業とサービス業では「環境整備などの導入コスト」が3割半ばと、他業種に比べ高い割合となっている。

また、その他のコメントとして、「セキュリティ」や「従業員の理解不足」といった回答がみられた。



(単位：%)

	対応できる人材が少ない	従業員を教育する時間がない	環境整備などの導入コスト	他社との連携	活用できることが少ない	どのように実施すればよいか分からない	特になし	その他
全 体 (290) 件	37.2	17.6	31.0	9.3	39.0	11.0	12.1	4.8
製 造 業 (55) 件	45.5	12.7	29.1	7.3	41.8	16.4	14.5	3.6
卸 売 業 (69) 件	39.1	14.5	36.2	13.0	34.8	7.2	10.1	4.3
小 売 業 (37) 件	35.1	24.3	29.7	0.0	37.8	18.9	8.1	5.4
サービス業 (60) 件	36.7	20.0	35.0	10.0	33.3	1.7	18.3	5.0
建 設 業 (69) 件	30.4	18.8	24.6	11.6	46.4	14.5	8.7	5.8

中小企業景況調査 比較表・転記表

製造業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和3年7月～9月期

[今期の景況]

		全体	電気機械器具	一般機械器具・金型	出版・印刷・同関連産業	金属製品・建設用金属製品・プレスメッキ	プラスチック製品
業況		-45	-46	-27	-67	-59	-28
売上額		-38	-59	-1	-38	-72	-31
受注残		-49	-73	-32	-25	-73	-43
収益		-40	-55	-17	-34	-71	-34
販売価格		-15	-9	4	-5	-39	-27
原材料価格		50	57	66	17	34	82
原材料在庫		-10	6	-30	-1	-9	-4
資金繰り		-29	-19	-25	-44	-47	-9
雇用	残業時間	-24	-25	-7	-31	-50	-15
	人手	10	33	-13	23	0	8
同期比	売上額	-29	0	-13	-23	-50	-31
	収益	-40	-42	-27	-39	-67	-31
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	72	50	57	92	83	77
	②工場・機械の狭小・老朽化	16	25	29	8	8	8
	③利幅の縮小	16	17	7	31	8	15
	④同業者間の競争の激化	9	8	7	23	0	8
	⑤人手不足	9	8	21	8	8	0
重点経営施策	①経費を節減する	40	25	27	58	58	36
	②販路を広げる	57	67	53	75	50	36
	③情報力を強化する	18	8	13	25	17	27
	④新製品・技術を開発する	21	42	27	8	17	9
	⑤人材を確保する	13	33	13	8	8	0
借入の難易度		-5	0	0	-15	-25	15

[来期の景況見通し]

業況		-49	-28	-59	-49	-82	-15
売上額		-32	-29	-33	-16	-61	-26
受注残		-34	-18	-47	-12	-66	-25
収益		-45	-33	-48	-30	-67	-45
販売価格		-15	-1	-5	-15	-38	-19
原材料価格		53	57	67	32	41	72
原材料在庫		-8	-5	-20	4	-9	-10
資金繰り		-34	-20	-32	-51	-50	-19
雇用	残業時間	-11	0	13	0	-46	-31
	人手	6	17	-13	23	9	0

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

小 売 業

品川区 中小企業景況調査 比較表

令和3年7月～9月期

[今期の景況]

		全体	飲食料品	飲食店	衣服・呉服・身の回り品
業況		-66	-32	-88	-81
売上額		-67	-43	-75	-77
収益		-61	-35	-76	-67
販売価格		-20	-16	-11	-31
仕入価格		19	25	35	-2
在庫		5	7	-12	16
資金繰り		-38	-35	-30	-48
雇用	残業時間	-21	-9	-29	-21
	人手	-7	-18	-17	14
同期比	売上額	-64	-82	-47	-71
	収益	-62	-91	-41	-64
	販売価格	-17	-18	-6	-29
経営上の問題点	①売上の停滞・減少	86	82	88	87
	②商店街の集客力の低下	14	9	12	20
	③利幅の縮小	16	27	12	13
	④取引先の減少	14	36	12	0
	⑤人手不足	14	18	24	0
重点経営施策	①経費を節減する	49	46	41	60
	②品揃えを改善する	26	9	12	53
	③宣伝・広報を強化する	23	18	41	7
	④新しい事業を始める	16	36	12	7
	⑤商店街事業を活性化させる	2	9	0	0
借入の難易度		-10	-10	-11	-7

[来期の景況見通し]

業況		-51	-23	-77	-56
売上額		-38	-37	-40	-38
収益		-36	-39	-39	-28
販売価格		-11	-9	-17	-10
仕入価格		19	28	27	4
在庫		3	8	-10	9
資金繰り		-35	-34	-29	-40
雇用	残業時間	-12	-9	-18	-7
	人手	-7	-9	-22	14

* 単純D・Iを表示している項目。雇用面、前年同期比、借入難易度

* 企業割合(%)を表示している項目。経営上の問題点、重点経営施策

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	17.7	12.0	17.7	12.7	10.5	11.3	5.3	3.5	10.0	4.1	16.7	5.1	8.3	10.3	10.1	11.1		13.2
	普通	25.3	33.3	19.4	39.2	10.5	16.1	7.9	14.1	17.5	13.5	23.1	19.0	21.4	28.2	26.1	18.5		25.0
	悪い	57.0	54.7	62.9	48.1	79.1	72.6	86.8	82.4	72.5	82.4	60.3	75.9	70.2	61.5	63.8	70.4		61.8
	D・I	-39.2	-42.7	-45.2	-35.4	-68.6	-61.3	-81.6	-78.8	-62.5	-78.4	-43.6	-70.9	-61.9	-51.3	-53.6	-59.3		-48.5
	修正値	-40.5	-44.6	-48.6	-36.5	-64.9	-59.1	-78.1	-75.4	-63.0	-77.9	-48.5	-71.5	-59.1	-52.2	-44.8	-53.6	14.0	-49.1
	傾向値	-27.6		-36.0		-45.5		-54.6		-61.6		-64.3		-63.2		-58.9			
売上額	増加	27.8	18.7	17.7	11.4	11.6	6.5	10.4	5.9	30.4	19.7	24.4	15.2	14.3	15.4	17.6	17.1		25.0
	変らず	19.0	30.7	25.8	39.2	9.3	27.4	11.7	22.4	19.0	14.5	17.9	25.3	21.4	33.3	19.1	20.7		26.5
	減少	53.2	50.7	56.5	49.4	79.1	66.1	77.9	71.8	50.6	65.8	57.7	59.5	64.3	51.3	63.2	62.2		48.5
	D・I	-25.3	-32.0	-38.7	-38.0	-67.4	-59.7	-67.5	-65.9	-20.3	-46.1	-33.3	-44.3	-50.0	-35.9	-45.6	-45.1		-23.5
	修正値	-33.3	-36.7	-42.6	-40.1	-58.5	-52.7	-63.2	-62.5	-31.4	-49.7	-38.3	-47.4	-38.5	-30.1	-37.6	-38.4	1.0	-32.3
	傾向値	-25.9		-32.2		-39.6		-46.9		-49.1		-47.8		-45.0		-40.0			
受注残	増加	14.3	12.3	6.5	5.1	11.6	4.8	9.2	5.9	18.8	16.0	21.8	10.1	13.3	11.5	8.7	18.1		16.2
	変らず	40.3	38.4	43.5	48.7	16.3	43.5	23.7	23.5	30.0	28.0	21.8	32.9	32.5	34.6	29.0	26.5		36.8
	減少	45.5	49.3	50.0	46.2	72.1	51.6	67.1	70.6	51.3	56.0	56.4	57.0	54.2	53.8	62.3	55.4		47.1
	D・I	-31.2	-37.0	-43.5	-41.0	-60.5	-46.8	-57.9	-64.7	-32.5	-40.0	-34.6	-46.8	-41.0	-42.3	-53.6	-37.3		-30.9
	修正値	-32.6	-37.8	-47.2	-39.9	-54.9	-46.7	-54.2	-61.1	-35.7	-40.7	-39.9	-46.1	-35.6	-43.5	-48.6	-33.0	-13.0	-34.2
	傾向値	-28.8		-33.1		-40.6		-46.4		-48.4		-47.5		-43.9		-41.0			
収益	増加	17.9	18.7	14.5	9.0	10.5	11.3	10.4	8.3	23.8	18.4	17.9	14.1	14.3	11.5	13.0	13.3		17.6
	変らず	25.6	30.7	27.4	39.7	11.6	29.0	18.2	17.9	16.3	15.8	20.5	25.6	23.8	21.8	24.6	21.7		25.0
	減少	56.4	50.7	58.1	51.3	77.9	59.7	71.4	73.8	60.0	65.8	61.5	60.3	61.9	66.7	62.3	65.1		57.4
	D・I	-38.5	-32.0	-43.5	-42.3	-67.4	-48.4	-61.0	-65.5	-36.3	-47.4	-43.6	-46.2	-47.6	-55.1	-49.3	-51.8		-39.7
	修正値	-45.5	-36.8	-48.2	-44.4	-58.5	-43.1	-55.7	-60.4	-44.5	-50.4	-48.0	-48.2	-35.9	-52.7	-40.4	-44.7	-4.0	-45.1
	傾向値	-33.2		-41.4		-48.1		-51.8		-52.3		-52.1		-49.6		-45.7			
価格動向	販売価格	-6.3	-14.9	-13.1	-12.7	-20.9	-6.6	-20.8	-15.3	-13.8	-19.7	-28.2	-18.8	-20.2	-26.9	-15.9	-20.5		-14.7
	修正値	-10.1	-16.9	-15.2	-14.0	-16.5	-9.7	-18.4	-11.5	-16.3	-19.1	-28.3	-18.4	-18.3	-27.9	-14.7	-19.2	4.0	-15.4
	傾向値	-9.5		-10.4		-12.2		-14.2		-16.2		-19.0		-20.8		-20.1			
	原材料価格	32.9	36.5	27.4	20.3	3.5	23.0	13.2	8.2	8.8	18.7	29.5	13.8	42.9	41.0	52.2	48.2		60.3
	修正値	36.3	38.0	27.4	26.5	5.2	23.5	14.3	7.7	10.1	17.3	22.7	17.6	38.7	34.0	49.8	42.0	11.0	53.2
	傾向値	38.9		35.9		28.4		21.3		16.2		13.5		18.6		28.4			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	6.4	18.7	11.5	10.3	7.2	16.4	13.3	3.7	7.6	9.3	6.5	7.6	-2.4	6.5	-8.7	-2.4		-10.3
	修正値	8.3	19.8	14.0	12.1	5.8	14.7	10.7	3.0	10.1	10.8	9.3	9.3	-1.6	5.9	-9.8	-1.2	-8.0	-8.2
	資金繰り	-20.5	-33.3	-29.0	-26.9	-47.7	-40.3	-33.8	-54.1	-27.8	-37.7	-26.9	-35.4	-40.0	-34.6	-31.4	-48.8		-36.2
	修正値	-18.5	-32.2	-30.9	-26.9	-45.4	-41.6	-33.0	-49.7	-26.8	-36.7	-29.4	-36.1	-36.6	-36.1	-29.2	-43.7	7.0	-34.4
前年同期比	売上額	-40.6		-57.4		-67.9		-77.9		-73.9		-59.2		-32.1		-29.2			
	収益	-46.3		-58.1		-64.7		-76.6		-73.9		-60.6		-33.3		-40.0			
雇用	残業時間	-24.6	-4.1	-31.1	-24.6	-44.6	-27.9	-30.3	-34.1	-29.9	-27.6	-12.5	-29.4	-26.5	-22.2	-23.8	-23.8		-10.9
	人手	-10.1	-18.9	-15.0	-10.1	8.3	-6.7	15.6	10.8	7.4	16.9	-8.3	8.8	1.2	-1.4	9.5	2.4		6.3
借入金	借入難易度	4.6		1.6		10.8		21.3		5.9		11.3		-7.3		-4.6			
	借入をした(%)	31.7	29.0	27.4	32.8	42.0	23.3	46.1	36.0	38.8	26.9	36.2	26.2	40.5	34.3	29.0	21.1		11.7
	借入をしない(%)	68.3	71.0	72.6	67.2	58.0	76.7	53.9	64.0	61.2	73.1	63.8	73.8	59.5	65.7	71.0	78.9		88.3
有効回答事業所数		79		62		86		77		80		78		85		70			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-7.5	-9.3	-8.2	-6.0	-6.1	0.0	7.9	-4.9	-1.5	5.3	-4.2	-1.5	-2.4	-2.8	-7.8	-1.2		-8.1
	実施した	29.4	28.6	20.3	25.8	22.2	20.3	30.3	15.0	19.7	25.0	22.9	26.9	23.5	31.0	31.7	26.6		21.0
	事業用地・建物	4.4	4.3	1.7	4.5	3.7	0.0	1.3	2.5	4.5	0.0	4.3	3.0	3.7	2.8	1.6	2.5		3.2
	機械・設備の新・増設	11.8	8.6	8.5	12.1	7.4	5.1	9.2	6.3	1.5	6.6	4.3	6.0	9.9	9.9	12.7	8.9		6.5
	機械・設備の更改	7.4	14.3	1.7	7.6	4.9	6.8	6.6	3.8	9.1	9.2	5.7	11.9	8.6	11.3	17.5	10.1		6.5
	事務機器	16.2	10.0	13.6	7.6	8.6	11.9	11.8	6.3	13.6	9.2	12.9	9.0	8.6	12.7	6.3	7.6		8.1
	車両	7.4	4.3	3.4	3.0	4.9	6.8	9.2	3.8	3.0	7.9	10.0	6.0	4.9	7.0	6.3	6.3		9.7
	その他	0.0	0.0	0.0	1.5	1.2	0.0	1.3	1.3	0.0	1.3	1.4	0.0	2.5	1.4	0.0	1.3		0.0
	実施しない	70.6	71.4	79.7	74.2	77.8	79.7	69.7	85.0	80.3	75.0	77.1	73.1	76.5	69.0	68.3	73.4		79.0
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	69.2		66.1		81.2		83.1		76.1		70.8		80.2		71.9			
	人手不足	16.9		16.1		10.6		6.5		11.9		12.5		11.1		9.4			
	大手企業との競争の激化	1.5		0.0		0.0		2.6		3.0		0.0		3.7		3.1			
	同業者間の競争の激化	18.5		11.3		9.4		6.5		16.4		16.7		8.6		9.4			
	親企業による選別の強化	6.2		3.2		1.2		2.6		3.0		0.0		1.2		4.7			
	輸入製品との競争の激化	1.5		1.6		2.4		2.6		0.0		1.4		4.9		3.1			
	合理化の不足	6.2		6.5		5.9		10.4		7.5		6.9		4.9		7.8			
	利幅の縮小	18.5		29.0		24.7		20.8		23.9		20.8		28.4		15.6			
	原材料高	15.4		21.0		9.4		9.1		10.4		15.3		38.3		31.3			
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		6.5		2.4		5.2		4.5		9.7		4.9		1.6			
	仕入先からの値上げ要請	4.6		8.1		5.9		3.9		3.0		4.2		12.3		15.6			
	人件費の増加	21.5		9.7		11.8		3.9		9.0		9.7		8.6		9.4			
	人件費以外の経費増加	12.3		8.1		5.9		9.1		7.5		8.3		2.5		3.1			
	工場・機械の狭小・老朽化	15.4		17.7		17.6		18.2		28.4		25.0		18.5		15.6			
	生産能力の不足	6.2		11.3		4.7		3.9		6.0		6.9		3.7		1.6			
	下請の確保難	9.2		8.1		9.4		3.9		10.4		6.9		1.2		4.7			
	代金回収の悪化	0.0		1.6		1.2		0.0		0.0		0.0		1.2		0.0			
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	天候の不順	0.0		0.0		1.2		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	地場産業の衰退	1.5		3.2		5.9		2.6		3.0		2.8		1.2		1.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	9.2		6.5		4.7		10.4		11.9		6.9		0.0		1.6			
	為替レートの変動	1.5		3.2		1.2		3.9		3.0		4.2		1.2		0.0			
	その他	1.5		8.1		7.1		7.8		6.0		4.2		3.7		4.7			
	問題なし	3.1		1.6		0.0		3.9		1.5		0.0		1.2		4.7			
重点経営施策（％）	販路を広げる	51.5		47.5		62.7		56.0		53.6		59.2		56.0		56.5			
	経費を節減する	38.2		37.7		56.6		48.0		55.1		47.9		50.0		40.3			
	情報力を強化する	26.5		18.0		20.5		24.0		21.7		21.1		19.0		17.7			
	新製品・技術を開発する	20.6		31.1		21.7		26.7		21.7		21.1		26.2		21.0			
	不採算部門を整理・縮小する	5.9		3.3		10.8		4.0		7.2		4.2		9.5		6.5			
	提携先を見つける	13.2		11.5		14.5		9.3		5.8		12.7		9.5		6.5			
	機械化を推進する	10.3		13.1		3.6		5.3		2.9		12.7		4.8		4.8			
	人材を確保する	33.8		21.3		13.3		18.7		18.8		19.7		22.6		12.9			
	パート化を図る	0.0		1.6		2.4		4.0		2.9		1.4		1.2		1.6			
	教育訓練を強化する	10.3		14.8		16.9		9.3		11.6		18.3		10.7		12.9			
	労働条件を改善する	4.4		9.8		3.6		2.7		1.4		2.8		7.1		4.8			
	工場・機械を増設・移転する	4.4		3.3		8.4		4.0		5.8		5.6		3.6		6.5			
	不動産の有効活用を図る	4.4		4.9		1.2		4.0		4.3		7.0		3.6		8.1			
	その他	2.9		3.3		2.4		1.3		2.9		0.0		2.4		1.6			
	特になし	10.3		4.9		6.0		9.3		8.7		4.2		4.8		6.5			
有効回答事業所数		79		62		86		77		80		78		85		70			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	14.3	5.6	7.9	10.5	3.8	1.6	7.7	2.5	10.5	9.0	10.8	6.7	19.1	11.0	15.0	16.0		20.5
	普通	27.3	36.6	20.6	40.8	6.3	15.9	14.1	11.4	19.7	16.7	16.2	21.3	21.3	24.7	21.3	33.0		24.4
	悪い	58.4	57.7	71.4	48.7	89.9	82.5	78.2	86.1	69.7	74.4	73.0	72.0	59.6	64.4	63.8	51.1		55.1
	D・I	-44.2	-52.1	-63.5	-38.2	-86.1	-81.0	-70.5	-83.5	-59.2	-65.4	-62.2	-65.3	-40.4	-53.4	-48.8	-35.1		-34.6
	修正値	-44.6	-52.8	-58.9	-36.6	-84.4	-78.7	-70.3	-81.7	-62.1	-65.4	-59.5	-65.7	-38.8	-50.4	-49.3	-36.2	-10.0	-39.2
	傾向値	-34.3		-40.6		-50.0		-61.5		-67.9		-69.7		-63.8		-55.4			
売上額	増加	15.6	19.4	20.6	14.5	2.5	7.9	15.4	10.1	25.0	15.2	12.2	13.2	29.8	21.9	18.5	29.0		28.8
	変らず	29.9	27.8	15.9	32.9	11.4	14.3	14.1	19.0	17.1	21.5	24.3	28.9	24.5	30.1	22.2	31.2		25.0
	減少	54.5	52.8	63.5	52.6	86.1	77.8	70.5	70.9	57.9	63.3	63.5	57.9	45.7	47.9	59.3	39.8		46.3
	D・I	-39.0	-33.3	-42.9	-38.2	-83.5	-69.8	-55.1	-60.8	-32.9	-48.1	-51.4	-44.7	-16.0	-26.0	-40.7	-10.8		-17.5
	修正値	-45.9	-38.9	-36.8	-30.1	-79.5	-67.0	-54.7	-58.6	-42.5	-51.3	-49.0	-40.5	-6.9	-24.5	-40.6	-14.5	-34.0	-24.0
	傾向値	-32.4		-37.8		-44.1		-52.3		-54.4		-54.7		-47.3		-37.0			
収益	増加	15.6	11.1	16.1	11.8	2.5	6.5	16.7	10.1	21.1	15.2	12.3	11.8	28.7	24.7	16.0	26.6		22.5
	変らず	29.9	34.7	21.0	36.8	12.7	19.4	11.5	16.5	22.4	19.0	21.9	28.9	24.5	24.7	18.5	34.0		31.3
	減少	54.5	54.2	62.9	51.3	84.8	74.2	71.8	73.4	56.6	65.8	65.8	59.2	46.8	50.7	65.4	39.4		46.3
	D・I	-39.0	-43.1	-46.8	-39.5	-82.3	-67.7	-55.1	-63.3	-35.5	-50.6	-53.4	-47.4	-18.1	-26.0	-49.4	-12.8		-23.8
	修正値	-44.2	-46.1	-40.3	-32.8	-78.1	-65.5	-56.5	-61.7	-43.5	-52.4	-49.8	-43.5	-12.1	-26.4	-49.0	-17.4	-37.0	-27.3
	傾向値	-36.0		-39.6		-45.6		-53.7		-55.4		-55.8		-48.6		-39.8			
価格動向	販売価格	-11.8	-9.9	-14.3	-11.7	-30.4	-22.2	-17.9	-35.4	-17.1	-20.3	-12.3	-14.5	6.4	0.0	3.7	10.6		13.8
	〃 修正値	-11.3	-6.9	-13.4	-10.7	-25.1	-22.7	-19.3	-31.2	-18.3	-18.6	-15.8	-16.4	7.9	-6.7	1.4	12.1	-7.0	13.2
	〃 傾向値	-4.0		-6.5		-11.4		-16.5		-19.3		-19.7		-14.8		-7.5			
	仕入価格	10.5	22.5	4.8	14.5	3.8	3.2	16.9	-1.3	18.4	12.8	17.6	22.4	37.2	31.1	39.5	31.9		44.3
	〃 修正値	11.8	26.0	9.4	18.5	5.5	5.2	17.8	1.8	16.1	12.1	17.7	20.8	32.8	26.6	35.4	31.6	3.0	39.6
	〃 傾向値	32.5		25.3		17.4		11.4		10.0		12.6		18.3		25.4			
在庫・資金繰り	在庫数量	18.9	21.4	29.5	20.0	32.0	14.8	15.8	26.7	6.7	13.0	16.7	12.0	13.0	6.9	11.3	13.0		3.8
	〃 修正値	20.9	18.9	24.8	18.4	33.5	13.3	15.6	29.4	10.7	12.3	14.3	11.1	12.8	7.7	11.3	14.2	-2.0	4.7
	資金繰り	-6.5	-11.3	-12.7	-7.9	-32.1	-25.4	-14.3	-37.2	-2.6	-19.2	-17.3	-7.9	-13.8	-13.3	-25.9	-21.3		-37.5
	〃 修正値	-9.6	-11.1	-14.5	-8.5	-29.1	-25.8	-11.8	-33.7	-8.7	-19.2	-18.6	-12.1	-10.3	-13.3	-21.9	-17.4	-12.0	-33.9
前年同期比	売上額	-35.8		-53.2		-75.9		-66.7		-50.0		-43.1		6.5		-16.0			
	収益	-41.8		-58.1		-82.3		-70.5		-58.6		-47.2		-1.1		-28.4			
	販売価格	-1.5		-23.0		-36.7		-31.2		-22.9		-8.3		12.1		6.3			
雇用	残業時間	-12.1	-4.2	-22.6	-20.0	-55.1	-30.6	-31.2	-27.3	-14.3	-22.1	-34.7	-17.1	-23.4	-13.9	-11.3	-13.8		-2.5
	人手	-23.1	-27.5	-9.7	-15.4	15.4	-8.1	2.6	15.4	-2.9	0.0	1.4	-1.4	-6.5	-2.8	-8.6	-8.6		-12.5
借入金	借入難易度	3.1		-6.3		4.0		2.6		10.1		0.0		-6.6		-11.3			
	借入をした(%)	32.8	25.8	35.0	28.6	40.3	31.1	46.2	42.3	46.4	29.2	40.3	22.4	34.0	18.8	34.2	19.1		15.8
	借入をしない(%)	67.2	74.2	65.0	71.4	59.7	68.9	53.8	57.7	53.6	70.8	59.7	77.6	66.0	81.2	65.8	80.9		84.2
有効回答事業所数		77		63		80		79		76		75		94		81			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対		R3	
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比		10～12月期	
設備投資動向（％）	現在の設備	-7.9	-10.3	-3.4	-3.2	-1.4	-3.4	-8.3	-7.0	2.9	-8.5	-1.5	4.3	-3.4	-2.9	-5.2	-2.3			-3.9	
	実施した	29.0	33.8	24.6	37.7	28.4	20.4	36.4	31.0	38.6	30.4	29.2	31.3	27.9	28.2	18.5	31.0			27.5	
	事業用地・建物	1.6	0.0	1.8	4.9	1.4	0.0	5.2	4.2	7.1	2.9	2.8	3.0	1.2	1.4	1.2	2.4			3.8	
	機械・設備の新・増設	6.5	4.6	1.8	8.2	8.1	0.0	5.2	7.0	5.7	2.9	1.4	7.5	5.8	0.0	2.5	4.8			1.3	
	機械・設備の更改	4.8	7.7	1.8	8.2	8.1	3.7	6.5	2.8	2.9	8.7	4.2	10.4	3.5	5.6	0.0	7.1			1.3	
	事務機器	22.6	18.5	15.8	21.3	16.2	16.7	20.8	18.3	24.3	17.4	16.7	14.9	19.8	22.5	11.1	14.3			13.8	
	車両	12.9	12.3	14.0	14.8	10.8	11.1	13.0	7.0	12.9	10.1	11.1	10.4	4.7	5.6	7.4	9.5			7.5	
	その他	0.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.2	1.4	1.2	1.2			2.5	
	実施しない	71.0	66.2	75.4	62.3	71.6	79.6	63.6	69.0	61.4	69.6	70.8	68.7	72.1	71.8	81.5	69.0			72.5	
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	53.8		58.3		77.6		66.7		69.1		66.2		61.3		66.2					
	人手不足	15.4		8.3		6.6		14.1		11.8		19.7		12.9		9.1					
	同業者間の競争の激化	21.5		18.3		21.1		17.9		19.1		21.1		21.5		18.2					
	輸入製品との競争の激化	0.0		0.0		2.6		1.3		0.0		0.0		1.1		3.9					
	流通経路の変化による競争の激化	9.2		10.0		9.2		3.8		7.4		2.8		9.7		6.5					
	合理化の不足	4.6		6.7		6.6		7.7		11.8		4.2		5.4		6.5					
	小口注文・多頻度配送の増加	9.2		6.7		6.6		12.8		14.7		9.9		6.5		2.6					
	利幅の縮小	35.4		36.7		23.7		30.8		19.1		32.4		23.7		29.9					
	取扱商品の陳腐化	9.2		3.3		2.6		3.8		5.9		4.2		5.4		7.8					
	販売商品の不足	7.7		11.7		6.6		5.1		7.4		4.2		7.5		7.8					
	販売納入先からの値下げ要請	1.5		3.3		7.9		3.8		4.4		4.2		1.1		1.3					
	仕入先からの値上げ要請	9.2		1.7		5.3		6.4		10.3		12.7		18.3		16.9					
	人件費の増加	13.8		6.7		10.5		9.0		7.4		9.9		8.6		7.8					
	人件費以外の経費の増加	9.2		6.7		7.9		7.7		5.9		1.4		5.4		6.5					
	取引先の減少	13.8		26.7		21.1		26.9		26.5		18.3		23.7		26.0					
	店舗の狭小・老朽化	3.1		1.7		2.6		1.3		4.4		0.0		1.1		0.0					
	代金回収の悪化	3.1		1.7		7.9		1.3		1.5		2.8		2.2		2.6					
	地価の高騰	0.0		0.0		0.0		0.0		1.5		4.2		1.1		0.0					
	駐車場の確保難	1.5		1.7		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0					
	天候の不順	9.2		3.3		1.3		5.1		1.5		4.2		1.1		3.9					
	地場産業の衰退	4.6		3.3		1.3		2.6		0.0		5.6		2.2		0.0					
	為替レートの変動	9.2		13.3		6.6		12.8		7.4		11.3		16.1		11.7					
	大手企業・工場の縮小・撤退	7.7		3.3		7.9		9.0		2.9		4.2		4.3		2.6					
	その他	0.0		11.7		7.9		3.8		2.9		4.2		2.2		7.8					
	問題なし	3.1		1.7		1.3		2.6		4.4		4.2		4.3		5.2					
重点経営施策（％）	販路を広げる	56.9		54.0		55.3		59.0		69.1		59.2		67.4		69.6					
	経費を削減する	36.9		49.2		51.3		48.7		41.2		43.7		42.4		45.6					
	品揃えを充実する	20.0		17.5		15.8		10.3		13.2		21.1		13.0		8.9					
	情報力を強化する	23.1		27.0		38.2		35.9		27.9		22.5		32.6		31.6					
	新しい事業を始める	9.2		11.1		10.5		9.0		11.8		14.1		15.2		11.4					
	提携先を見つける	4.6		3.2		9.2		6.4		2.9		4.2		9.8		2.5					
	機械化を推進する	3.1		1.6		2.6		2.6		4.4		2.8		1.1		2.5					
	人材を確保する	24.6		19.0		15.8		19.2		23.5		19.7		22.8		12.7					
	パート化を図る	3.1		1.6		0.0		1.3		1.5		1.4		0.0		0.0					
	教育訓練を強化する	6.2		11.1		7.9		10.3		16.2		7.0		8.7		10.1					
	流通経路の見直しをする	6.2		7.9		2.6		2.6		2.9		11.3		5.4		10.1					
	取引先を支援する	1.5		3.2		0.0		5.1		2.9		1.4		2.2		1.3					
	輸入品の取扱いを増やす	1.5		6.3		1.3		2.6		1.5		2.8		6.5		3.8					
	労働条件を改善する	7.7		1.6		5.3		3.8		5.9		7.0		1.1		2.5					
	不動産の有効活用を図る	7.7		3.2		3.9		3.8		7.4		2.8		2.2		5.1					
	その他	1.5		0.0		5.3		1.3		1.5		2.8		2.2		3.8					
	特になし	10.8		6.3		6.6		9.0		7.4		9.9		4.3		6.3					
有効回答事業所数		77		63		80		79		76		75		94		81					

小売業

中小企業景況調査 転記表 NO. 1

令和3年7月～9月期

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	9.8	19.0	2.7	1.6	3.2	2.8	8.3	4.8	12.1	11.3	11.6	12.1	6.5	14.3	9.5	8.2		19.0
	普通	34.4	27.6	8.1	57.4	7.9	2.8	6.9	14.3	13.8	15.5	14.5	3.4	14.5	15.7	12.7	21.3		15.9
	悪い	55.7	53.4	89.2	41.0	88.9	94.4	84.7	81.0	74.1	73.2	73.9	84.5	79.0	70.0	77.8	70.5		65.1
	D・I	-45.9	-34.5	-86.5	-39.3	-85.7	-91.7	-76.4	-76.2	-62.1	-62.0	-62.3	-72.4	-72.6	-55.7	-68.3	-62.3		-46.0
	修正値	-49.6	-37.0	-85.3	-36.7	-84.2	-91.0	-73.7	-72.9	-66.0	-64.6	-59.7	-70.9	-69.4	-52.4	-65.5	-58.5	4.0	-51.4
	傾向値	-35.5		-44.7		-57.6		-68.7		-75.6		-74.6		-70.0		-67.3			
売上額	増加	16.4	25.4	8.1	6.6	9.5	0.0	41.7	12.7	29.3	30.6	8.6	7.1	9.7	20.0	7.9	19.4		23.8
	変らず	36.1	22.0	2.7	55.7	3.2	13.5	9.7	20.6	10.3	31.9	18.6	8.9	17.7	24.3	19.0	27.4		30.2
	減少	47.5	52.5	89.2	37.7	87.3	86.5	48.6	66.7	60.3	37.5	72.9	83.9	72.6	55.7	73.0	53.2		46.0
	D・I	-31.1	-27.1	-81.1	-31.1	-77.8	-86.5	-6.9	-54.0	-31.0	-6.9	-64.3	-76.8	-62.9	-35.7	-65.1	-33.9		-22.2
	修正値	-39.3	-34.7	-75.1	-24.3	-77.6	-86.0	-11.2	-47.1	-41.1	-22.7	-50.5	-72.7	-60.0	-33.8	-66.6	-28.4	-7.0	-37.9
	傾向値	-30.6		-39.4		-52.7		-54.6		-49.2		-47.1		-43.2		-48.6			
収益	増加	13.1	16.9	0.0	3.3	7.9	0.0	33.3	11.1	20.7	27.8	4.3	3.5	9.8	21.4	9.5	11.5		22.6
	変らず	31.1	32.2	10.8	55.7	4.8	13.5	15.3	20.6	15.5	30.6	17.1	15.8	18.0	21.4	23.8	34.4		33.9
	減少	55.7	50.8	89.2	41.0	87.3	86.5	51.4	68.3	63.8	41.7	78.6	80.7	72.1	57.1	66.7	54.1		43.5
	D・I	-42.6	-33.9	-89.2	-37.7	-79.4	-86.5	-18.1	-57.1	-43.1	-13.9	-74.3	-77.2	-62.3	-35.7	-57.1	-42.6		-21.0
	修正値	-46.2	-40.0	-85.6	-31.3	-80.1	-85.8	-24.8	-53.6	-48.4	-26.1	-62.1	-73.0	-60.7	-34.1	-61.4	-39.2	-1.0	-35.5
	傾向値	-38.1		-46.9		-58.8		-61.2		-57.4		-55.6		-51.6		-54.3			
価格動向	販売価格	0.0	13.6	-21.6	-8.2	-19.0	-16.2	-2.8	-17.5	-6.9	-9.7	-17.4	-20.7	-9.7	-8.7	-19.4	-9.7		-8.1
	〃 修正値	-3.2	12.0	-18.5	-8.4	-16.5	-17.0	-3.5	-9.1	-10.0	-12.3	-14.3	-20.6	-7.1	-12.4	-19.7	-2.0	-13.0	-11.4
	〃 傾向値	-2.6		-4.2		-8.1		-10.5		-11.7		-12.1		-10.4		-11.3			
	仕入価格	24.6	45.8	2.7	16.4	3.2	-5.4	19.4	4.8	12.1	15.3	0.0	3.4	29.0	-4.3	17.7	32.3		24.2
	〃 修正値	25.7	44.3	7.9	22.3	4.0	-1.0	23.7	9.3	10.1	12.9	3.7	4.9	27.2	-0.8	19.3	32.1	-8.0	19.1
	〃 傾向値	37.7		31.5		21.2		14.3		10.9		9.0		11.9		14.9			
在庫・資金繰り	在庫数量	13.3	13.6	10.8	8.3	14.1	5.4	4.2	6.5	10.3	2.8	4.3	10.3	21.0	4.3	3.2	17.7		1.6
	〃 修正値	13.7	12.0	10.1	7.7	16.5	3.6	4.1	9.6	10.4	2.9	3.7	9.4	18.5	1.8	4.9	17.8	-14.0	3.4
	資金繰り	-31.1	-20.3	-66.7	-29.5	-46.0	-63.9	-28.2	-48.4	-41.4	-33.8	-42.0	-50.0	-30.6	-37.3	-36.5	-29.0		-31.7
	〃 修正値	-31.2	-18.5	-63.9	-29.2	-46.8	-61.7	-29.2	-47.1	-42.3	-35.8	-36.9	-49.5	-31.1	-34.2	-38.1	-28.1	-7.0	-34.5
前年同期比	売上額	-48.5		-75.7		-71.2		-80.4		-90.9		-78.3		-27.7		-64.3			
	収益	-72.7		-81.1		-72.9		-80.4		-88.6		-71.7		-34.0		-61.9			
	販売価格	18.2		-21.6		-18.6		-17.6		-22.7		-26.1		-6.4		-16.7			
雇用	残業時間	-6.3	-2.8	-43.2	-29.0	-59.6	-29.7	-31.4	-40.4	-48.8	-21.6	-56.8	-47.6	-34.0	-40.9	-21.4	-27.7		-11.9
	人手	-53.1	-36.1	-18.9	-56.3	5.2	-24.3	11.8	-1.7	0.0	11.8	-13.0	0.0	0.0	-19.6	-7.0	2.1		-7.0
借入金	借入難易度	-19.4		-19.4		14.8		10.4		12.2		7.1		-13.0		-9.5			
	借入をした(%)	38.7	14.7	25.7	17.2	57.9	36.1	64.0	29.5	59.1	23.8	62.2	29.7	45.7	23.7	45.5	20.5		15.0
	借入をしない(%)	61.3	85.3	74.3	82.8	42.1	63.9	36.0	70.5	40.9	76.2	37.8	70.3	54.3	76.3	54.5	79.5		85.0
有効回答事業所数		61		37		64		72		58		70		62		63			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対 前期比	R3	
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期			10～12月期	
設備 投資 動向 (%)	現在の設備	-9.7	-11.4	-8.6	-9.7	-15.8	-5.7	-18.4	-15.8	-27.9	-16.3	-9.1	-18.6	-10.9	-15.9	-14.6	-13.3		-12.2	
	実施した	46.7	23.5	37.5	33.3	31.0	25.8	23.9	20.8	31.0	20.9	28.6	15.0	21.4	31.0	22.0	21.4		25.6	
	事業用地・建物	10.0	2.9	6.3	7.4	6.9	3.2	4.3	5.7	2.4	2.3	2.4	2.5	2.4	4.8	2.4	4.8		5.1	
	機械・設備の新・増設	20.0	5.9	12.5	14.8	22.4	9.7	13.0	11.3	14.3	7.0	16.7	10.0	11.9	16.7	9.8	4.8		10.3	
	機械・設備の更改	20.0	11.8	18.8	14.8	10.3	12.9	15.2	15.1	7.1	14.0	9.5	2.5	4.8	16.7	4.9	9.5		5.1	
	事務機器	16.7	2.9	21.9	11.1	12.1	12.9	4.3	1.9	14.3	7.0	4.8	7.5	7.1	4.8	7.3	4.8		7.7	
	車両	3.3	8.8	9.4	7.4	6.9	0.0	4.3	3.8	7.1	4.7	2.4	2.5	7.1	2.4	7.3	4.8		10.3	
	その他	3.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	0.0	2.4	2.4	0.0	7.1		0.0	
	実施しない	53.3	76.5	62.5	66.7	69.0	74.2	76.1	79.2	69.0	79.1	71.4	85.0	78.6	69.0	78.0	78.6		74.4	
経営上の 問題点 (%)	売上の停滞・減少	69.7		77.1		85.5		88.0		88.1		86.0		81.8		86.0				
	人手不足	45.5		28.6		16.4		12.0		14.3		18.6		13.6		14.0				
	同業者間の競争の激化	18.2		5.7		5.5		12.0		7.1		11.6		15.9		11.6				
	大型店との競争の激化	6.1		2.9		1.8		4.0		4.8		9.3		0.0		2.3				
	輸入製品との競争の激化	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0				
	利幅の縮小	15.2		8.6		21.8		32.0		23.8		25.6		11.4		16.3				
	取扱商品の陳腐化	6.1		5.7		1.8		2.0		2.4		7.0		6.8		7.0				
	販売商品の不足	0.0		2.9		0.0		2.0		2.4		0.0		2.3		2.3				
	販売納入先からの値下げ要請	0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		2.3		0.0		0.0				
	仕入先からの値上げ要請	15.2		0.0		5.5		2.0		2.4		4.7		13.6		16.3				
	人件費の増加	27.3		22.9		12.7		12.0		9.5		16.3		15.9		16.3				
	人件費以外の経費の増加	9.1		14.3		10.9		6.0		9.5		7.0		6.8		0.0				
	取引先の減少	15.2		11.4		9.1		10.0		16.7		11.6		13.6		14.0				
	商圏人口の減少	0.0		2.9		5.5		18.0		7.1		7.0		2.3		2.3				
	商店街の集客力の低下	15.2		14.3		12.7		18.0		31.0		11.6		9.1		14.0				
	店舗の狭小・老朽化	3.0		2.9		0.0		4.0		2.4		4.7		6.8		4.7				
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		0.0		2.3				
	地価の高騰	3.0		2.9		0.0		2.0		0.0		4.7		4.5		4.7				
	駐車場の確保難	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		2.3		0.0		0.0				
	天候の不順	21.2		17.1		14.5		10.0		9.5		7.0		9.1		18.6				
	地場産業の衰退	0.0		0.0		1.8		0.0		4.8		0.0		0.0		2.3				
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		1.8		2.0		0.0		2.3		2.3		0.0				
	その他	0.0		34.3		18.2		8.0		7.1		9.3		20.5		16.3				
	問題なし	3.0		2.9		1.8		2.0		2.4		0.0		0.0		0.0				
重点 経営 施策 (%)	品揃えを改善する	25.0		14.7		25.5		28.6		31.7		26.2		34.0		25.6				
	経費を節減する	46.9		70.6		54.5		67.3		73.2		54.8		53.2		48.8				
	宣伝・広報を強化する	18.8		17.6		23.6		22.4		22.0		23.8		29.8		23.3				
	新しい事業を始める	9.4		2.9		16.4		20.4		19.5		21.4		27.7		16.3				
	店舗・設備を改装する	9.4		11.8		9.1		10.2		9.8		14.3		14.9		9.3				
	仕入先を開拓・選別する	21.9		11.8		14.5		8.2		4.9		4.8		17.0		20.9				
	営業時間を延長する	0.0		2.9		1.8		2.0		2.4		14.3		4.3		7.0				
	売れ筋商品を取扱う	12.5		17.6		21.8		24.5		14.6		14.3		23.4		14.0				
	商店街事業を活性化させる	12.5		8.8		3.6		6.1		17.1		11.9		6.4		2.3				
	機械化を推進する	9.4		0.0		1.8		4.1		2.4		0.0		6.4		4.7				
	人材を確保する	34.4		20.6		7.3		12.2		9.8		11.9		8.5		16.3				
	パート化を図る	12.5		8.8		5.5		4.1		4.9		9.5		4.3		2.3				
	教育訓練を強化する	21.9		8.8		3.6		8.2		7.3		9.5		4.3		7.0				
	輸入品の取扱いを増やす	3.1		0.0		0.0		0.0		0.0		2.4		0.0		0.0				
	不動産の有効活用を図る	9.4		5.9		9.1		2.0		0.0		4.8		2.1		0.0				
	その他	0.0		0.0		7.3		0.0		7.3		2.4		4.3		0.0				
	特になし	6.3		11.8		10.9		10.2		7.3		2.4		6.4		9.3				
有効回答事業所数		61		37		64		72		58		70		62		63				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3	
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期	
業況	良い	15.1	13.5	2.1	12.3	6.3	2.1	7.0	8.9	4.1	4.2	8.2	2.7	12.3	4.1	14.5	8.8			14.7
	普通	54.8	43.2	31.3	57.5	16.5	27.7	15.5	24.1	23.0	25.0	23.3	29.7	16.0	28.8	23.2	31.3			26.5
	悪い	30.1	43.2	66.7	30.1	77.2	70.2	77.5	67.1	73.0	70.8	68.5	67.6	71.6	67.1	62.3	60.0			58.8
	D・I	-15.1	-29.7	-64.6	-17.8	-70.9	-68.1	-70.4	-58.2	-68.9	-66.7	-60.3	-64.9	-59.3	-63.0	-47.8	-51.3			-44.1
	修正値	-17.6	-32.4	-63.9	-18.5	-66.8	-65.6	-68.3	-53.4	-69.8	-66.5	-59.5	-65.8	-56.8	-60.6	-45.7	-48.7	11.0		-44.2
	傾向値	-14.1		-20.3		-33.5		-47.9		-62.0		-68.2		-66.2		-61.9				
	傾向値																			
売上額	増加	19.2	20.0	4.3	11.3	8.9	8.5	20.8	21.8	16.2	14.1	11.0	5.4	19.8	12.3	15.9	22.5			14.7
	変らず	45.2	40.0	27.7	46.5	15.2	19.1	22.2	25.6	24.3	39.4	31.5	33.8	19.8	37.0	26.1	32.5			36.8
	減少	35.6	40.0	68.1	42.3	75.9	72.3	56.9	52.6	59.5	46.5	57.5	60.8	60.5	50.7	58.0	45.0			48.5
	D・I	-16.4	-20.0	-63.8	-31.0	-67.1	-63.8	-36.1	-30.8	-43.2	-32.4	-46.6	-55.4	-40.7	-38.4	-42.0	-22.5			-33.8
	修正値	-20.1	-22.7	-60.9	-25.7	-64.4	-62.6	-34.2	-29.3	-47.6	-35.1	-41.6	-52.2	-38.3	-36.6	-38.6	-23.5	0.0		-35.2
	傾向値	-18.1		-26.3		-39.2		-46.2		-49.2		-50.4		-45.0		-42.4				
	傾向値																			
収益	増加	17.8	17.6	10.4	11.3	8.9	10.4	16.7	16.7	16.2	15.5	8.2	8.1	14.8	9.6	15.9	20.0			11.8
	変らず	47.9	41.9	25.0	54.9	13.9	16.7	22.2	26.9	24.3	36.6	32.9	36.5	23.5	38.4	27.5	33.8			39.7
	減少	34.2	40.5	64.6	33.8	77.2	72.9	61.1	56.4	59.5	47.9	58.9	55.4	61.7	52.1	56.5	46.3			48.5
	D・I	-16.4	-23.0	-54.2	-22.5	-68.4	-62.5	-44.4	-39.7	-43.2	-32.4	-50.7	-47.3	-46.9	-42.5	-40.6	-26.3			-36.8
	修正値	-18.8	-25.2	-53.0	-19.3	-64.2	-60.0	-43.2	-39.7	-47.2	-34.5	-48.5	-46.0	-42.3	-38.2	-38.4	-27.6	4.0		-37.5
	傾向値	-20.3		-26.2		-36.9		-44.6		-49.2		-52.1		-49.0		-45.8				
	傾向値																			
価格動向	料金価格	-5.5	4.0	-16.7	-6.9	-22.7	-25.0	-16.9	-21.3	-17.8	-20.0	-12.3	-19.2	-11.3	-4.1	-4.4	-5.1			3.0
	修正値	-5.6	3.6	-15.8	-5.0	-20.8	-23.5	-15.3	-20.0	-18.2	-19.9	-13.2	-18.1	-10.1	-5.1	-4.1	-4.5	6.0		0.5
	傾向値	-0.7		-3.8		-9.0		-13.6		-17.0		-18.0		-16.0		-13.0				
	材料価格	16.4	32.0	19.6	16.7	9.5	10.9	0.0	2.7	4.2	0.0	12.5	4.2	14.3	13.9	16.2	15.8			17.9
	修正値	18.1	33.5	20.7	17.8	10.6	11.9	2.9	5.1	5.5	2.0	10.3	4.2	13.4	12.3	19.4	16.3	6.0		19.3
	傾向値	27.2		24.4		20.4		14.6		9.8		7.4		7.1		9.8				
	傾向値																			
在庫・資金繰り	資金繰り	-5.5	-20.0	-35.4	-6.9	-50.6	-41.7	-33.8	-41.8	-32.4	-38.6	-32.9	-32.4	-28.4	-31.5	-21.7	-21.3			-20.6
	修正値	-8.0	-21.1	-33.6	-8.5	-47.4	-39.0	-33.6	-37.7	-34.0	-38.2	-30.4	-35.3	-24.9	-29.1	-23.3	-18.9	2.0		-20.8
	傾向値																			
前年同期比	売上額	-28.6		-56.5		-62.5		-53.3		-50.0		-43.8		-12.5		-26.9				
	収益	-32.1		-63.8		-68.1		-56.7		-48.4		-45.3		-20.0		-19.7				
	傾向値																			
雇用	残業時間	-17.9	-13.3	-35.4	-16.4	-57.5	-41.7	-26.7	-38.4	-35.5	-22.0	-25.0	-33.9	-28.8	-20.3	-18.8	-17.7			-17.4
	人手	-48.2	-50.0	-37.5	-52.7	-9.7	-25.0	-16.4	-15.3	-21.3	-21.7	-25.0	-19.7	-27.5	-21.9	-37.7	-26.6			-36.2
借入金	借入難易度	1.9		-8.7		1.4		-9.8		-5.1		-1.6		1.3		1.5				
	借入をした(%)	20.0	7.1	26.1	9.3	40.6	20.9	32.3	23.9	37.1	16.9	34.4	12.5	31.6	20.7	28.4	8.1			10.8
	借入をしな(%)	80.0	92.9	73.9	90.7	59.4	79.1	67.7	76.1	62.9	83.1	65.6	87.5	68.4	79.3	71.6	91.9			89.2
有効回答事業所数		74		48		79		72		74		74		81		69				

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-14.5	-11.5	-6.3	-22.2	-4.3	0.0	-5.2	-4.3	-8.2	-5.3	-10.9	-9.8	-9.0	-15.6	-2.9	-7.8		-1.5
	実施した	46.3	26.4	37.0	35.8	31.0	23.3	25.0	20.9	26.7	17.5	34.4	22.4	24.4	35.5	28.8	25.7		25.8
	事業用地・建物	1.9	3.8	0.0	1.9	2.8	2.3	3.3	6.0	3.3	1.8	4.7	5.2	0.0	6.5	1.5	4.1		1.5
	機械・設備の新・増設	22.2	5.7	15.2	13.2	11.3	7.0	13.3	6.0	3.3	7.0	7.8	3.4	3.8	3.2	4.5	6.8		1.5
	機械・設備の更改	14.8	13.2	13.0	9.4	8.5	7.0	8.3	7.5	10.0	5.3	10.9	13.8	6.4	16.1	10.6	8.1		15.2
	事務機器	14.8	3.8	8.7	11.3	9.9	7.0	8.3	6.0	8.3	5.3	9.4	5.2	10.3	8.1	12.1	10.8		7.6
	車両	18.5	5.7	19.6	15.1	9.9	9.3	10.0	10.4	13.3	10.5	15.6	5.2	16.7	16.1	16.7	13.5		12.1
	その他	1.9	0.0	2.2	1.9	1.4	2.3	0.0	0.0	1.7	0.0	1.6	1.7	1.3	3.2	0.0	1.4		0.0
	実施しない	53.7	73.6	63.0	64.2	69.0	76.7	75.0	79.1	73.3	82.5	65.6	77.6	75.6	64.5	71.2	74.3		74.2
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	40.7		60.4		65.7		67.2		62.3		58.7		60.3		58.2			
	人手不足	51.9		47.9		22.9		31.1		34.4		34.9		30.8		32.8			
	同業者間の競争の激化	22.2		10.4		15.7		14.8		16.4		12.7		15.4		29.9			
	大手企業との競争の激化	1.9		4.2		2.9		1.6		1.6		3.2		2.6		3.0			
	合理化の不足	5.6		2.1		8.6		4.9		8.2		7.9		9.0		4.5			
	利幅の縮小	14.8		22.9		20.0		19.7		18.0		22.2		14.1		10.4			
	取扱事務の陳腐化	0.0		0.0		1.4		1.6		0.0		0.0		2.6		3.0			
	材料価格の上昇	7.4		8.3		1.4		1.6		4.9		7.9		7.7		13.4			
	料金の値下げ要請	5.6		6.3		2.9		3.3		4.9		3.2		3.8		4.5			
	人件費の増加	35.2		27.1		20.0		19.7		19.7		25.4		20.5		25.4			
	人件費以外の経費の増加	7.4		10.4		7.1		3.3		8.2		9.5		5.1		7.5			
	技術力の不足	11.1		10.4		10.0		4.9		11.5		7.9		12.8		11.9			
	取引先の減少	5.6		10.4		7.1		13.1		13.1		17.5		12.8		10.4			
	商圏人口の減少	1.9		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		1.3		3.0			
	地価の高騰	1.9		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0		0.0			
	駐車場の確保難	3.7		2.1		2.9		1.6		3.3		4.8		0.0		3.0			
	店舗・設備の狭小・老朽化	3.7		4.2		7.1		3.3		1.6		4.8		5.1		4.5			
	代金回収の悪化	1.9		2.1		0.0		1.6		1.6		1.6		1.3		1.5			
	天候の不順	9.3		4.2		8.6		0.0		3.3		1.6		2.6		4.5			
	地場産業の衰退	0.0		0.0		0.0		0.0		1.6		0.0		0.0		0.0			
	大手企業・工場の縮小・撤退	0.0		0.0		0.0		3.3		4.9		1.6		0.0		0.0			
	その他	1.9		8.3		11.4		6.6		4.9		6.3		9.0		6.0			
	問題なし	7.4		4.2		1.4		1.6		3.3		3.2		2.6		3.0			
重点経営施策（％）	販路を広げる	39.3		42.6		37.0		44.1		36.2		44.4		37.2		45.6			
	経費を節減する	48.2		44.7		49.3		55.9		48.3		41.3		44.9		33.8			
	宣伝・広告を強化する	12.5		14.9		12.3		8.5		8.6		9.5		9.0		17.6			
	新しい事業を始める	14.3		14.9		12.3		20.3		15.5		15.9		19.2		22.1			
	店舗・設備を改装する	0.0		2.1		4.1		1.7		3.4		6.3		3.8		4.4			
	提携先を見つける	3.6		6.4		6.8		5.1		12.1		6.3		6.4		7.4			
	技術力を強化する	21.4		21.3		17.8		15.3		17.2		20.6		17.9		20.6			
	機械化を促進する	1.8		0.0		4.1		1.7		1.7		4.8		3.8		2.9			
	人材を確保する	55.4		48.9		35.6		32.2		32.8		39.7		35.9		44.1			
	パート化を図る	1.8		4.3		2.7		0.0		1.7		3.2		3.8		0.0			
	教育訓練を強化する	16.1		14.9		13.7		13.6		15.5		14.3		19.2		13.2			
	労働条件を改善する	14.3		6.4		9.6		13.6		8.6		9.5		11.5		2.9			
	不動産の有効活用を図る	1.8		0.0		4.1		3.4		3.4		3.2		1.3		2.9			
	その他	1.8		2.1		9.6		1.7		5.2		1.6		1.3		2.9			
	特になし	5.4		6.4		2.7		3.4		3.4		3.2		5.1		5.9			
有効回答事業所数		74		48		79		72		74		74		81		69			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1		R2		R2		R2		R2		R3		R3		R3		対	R3
項目		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		10～12月期		1～3月期		4～6月期		7～9月期		前期比	10～12月期
業況	良い	21.1	21.3	18.5	14.5	2.2	6.3	2.5	3.2	3.9	12.7	9.3	6.5	8.6	8.1	12.7	12.0		10.1
	普通	49.3	33.3	36.9	49.3	22.6	29.7	26.6	17.2	37.7	27.8	36.0	39.0	29.0	39.2	24.1	22.8		35.4
	悪い	29.6	45.3	44.6	36.2	75.3	64.1	70.9	79.6	58.4	59.5	54.7	54.5	62.4	52.7	63.3	65.2		54.4
	D・I	-8.5	-24.0	-26.2	-21.7	-73.1	-57.8	-68.4	-76.3	-54.5	-46.8	-45.3	-48.1	-53.8	-44.6	-50.6	-53.3		-44.3
	修正値	-17.3	-28.0	-32.2	-28.8	-64.9	-48.3	-63.2	-73.5	-58.0	-49.0	-51.2	-52.0	-42.4	-37.3	-43.7	-46.4	-1.0	-47.5
	傾向値	-18.2		-18.1		-25.3		-37.6		-49.8		-57.9		-57.9		-53.3			
売上額	増加	23.9	28.9	21.5	25.7	7.5	9.4	13.9	14.0	15.6	29.1	17.1	16.9	11.8	14.9	17.7	18.5		17.7
	変らず	39.4	32.9	26.2	40.0	15.1	21.9	22.8	17.2	35.1	16.5	35.5	32.5	25.8	27.0	21.5	27.2		30.4
	減少	36.6	38.2	52.3	34.3	77.4	68.8	63.3	68.8	49.4	54.4	47.4	50.6	62.4	58.1	60.8	54.3		51.9
	D・I	-12.7	-9.2	-30.8	-8.6	-69.9	-59.4	-49.4	-54.8	-33.8	-25.3	-30.3	-33.8	-50.5	-43.2	-43.0	-35.9		-34.2
	修正値	-22.3	-21.0	-36.9	-12.4	-57.0	-42.4	-45.9	-54.9	-41.5	-35.7	-37.9	-36.8	-31.5	-22.2	-39.4	-35.1	-8.0	-43.9
	傾向値	-16.6		-20.4		-28.6		-36.9		-43.3		-45.9		-43.4		-40.2			
受注残	増加	25.4	25.3	14.1	17.4	4.3	6.3	6.3	14.3	7.8	26.6	14.5	14.3	8.7	13.5	18.2	12.2		15.6
	変らず	32.4	36.0	43.8	37.7	22.8	33.3	35.4	23.1	53.2	24.1	38.2	41.6	38.0	35.1	33.8	34.4		44.2
	減少	42.3	38.7	42.2	44.9	72.8	60.3	58.2	62.6	39.0	49.4	47.4	44.2	53.3	51.4	48.1	53.3		40.3
	D・I	-16.9	-13.3	-28.1	-27.5	-68.5	-54.0	-51.9	-48.4	-31.2	-22.8	-32.9	-29.9	-44.6	-37.8	-29.9	-41.1		-24.7
	修正値	-27.2	-21.1	-25.9	-30.5	-60.3	-39.3	-48.8	-49.2	-40.4	-30.4	-34.3	-32.1	-33.7	-23.0	-27.0	-40.7	7.0	-32.9
	傾向値	-23.6		-24.2		-29.8		-38.1		-43.1		-45.5		-43.1		-37.4			
施工高	増加	25.7	28.9	26.6	24.6	5.4	9.5	11.8	14.3	14.3	28.9	20.3	14.5	9.9	13.5	17.9	20.9		21.8
	変らず	35.7	27.6	26.6	31.9	14.1	25.4	25.0	17.6	40.3	18.4	37.8	32.9	26.4	25.7	21.8	27.5		28.2
	減少	38.6	43.4	46.9	43.5	80.4	65.1	63.2	68.1	45.5	52.6	41.9	52.6	63.7	60.8	60.3	51.6		50.0
	D・I	-12.9	-14.5	-20.3	-18.8	-75.0	-55.6	-51.3	-53.8	-31.2	-23.7	-21.6	-38.2	-53.8	-47.3	-42.3	-30.8		-28.2
	修正値	-23.2	-24.3	-28.2	-24.2	-63.0	-37.7	-47.3	-53.5	-40.6	-33.0	-32.3	-41.2	-35.5	-29.6	-36.7	-30.8	-1.0	-37.5
	傾向値	-18.1		-21.0		-28.5		-36.7		-42.2		-44.6		-42.1		-38.4			
収益	増加	19.7	22.4	18.5	14.3	6.5	6.3	7.6	14.0	9.1	20.3	18.4	10.4	6.5	12.0	16.7	17.4		15.4
	変らず	46.5	38.2	29.2	45.7	17.2	26.6	30.4	14.0	40.3	27.8	32.9	36.4	31.2	29.3	26.9	28.3		34.6
	減少	33.8	39.5	52.3	40.0	76.3	67.2	62.0	72.0	50.6	51.9	48.7	53.2	62.4	58.7	56.4	54.3		50.0
	D・I	-14.1	-17.1	-33.8	-25.7	-69.9	-60.9	-54.4	-58.1	-41.6	-31.6	-30.3	-42.9	-55.9	-46.7	-39.7	-37.0		-34.6
	修正値	-24.8	-26.3	-36.9	-30.8	-58.8	-46.1	-50.8	-56.9	-50.1	-40.2	-36.1	-46.0	-40.9	-30.3	-35.5	-35.4	5.0	-43.5
	傾向値	-27.3		-28.7		-33.7		-40.2		-46.5		-49.5		-47.3		-43.7			
価格動向	請負価格	-21.1	-18.4	-24.6	-20.0	-49.5	-39.1	-41.8	-44.1	-28.6	-27.8	-27.6	-27.3	-23.7	-32.0	-28.2	-31.5		-29.9
	修正値	-24.6	-20.9	-27.6	-24.2	-41.3	-32.6	-37.9	-41.0	-33.4	-29.7	-31.6	-30.9	-17.1	-25.8	-23.4	-29.1	-6.0	-32.7
	傾向値	-15.0		-18.9		-24.5		-31.3		-35.2		-36.5		-33.6		-28.7			
	材料価格	45.6	52.8	37.7	38.8	19.1	35.0	18.7	21.6	16.0	16.0	20.3	16.0	34.4	23.3	37.3	37.1		38.7
	修正値	46.9	51.0	38.6	38.6	23.0	35.9	18.6	26.2	17.2	16.2	18.5	16.3	34.2	21.5	33.6	37.0	-1.0	35.6
	傾向値	43.5		44.5		41.0		34.0		26.6		20.7		20.4		24.7			
在庫・資金繰り	原材料在庫数量	1.5	-5.6	-4.9	-1.5	1.1	-8.3	9.5	-2.3	5.4	6.8	-2.7	5.4	5.6	-5.6	5.3	2.3		1.3
	修正値	1.3	-4.9	-3.1	-1.9	2.9	-8.3	7.1	0.4	3.7	5.2	0.0	3.9	6.8	-4.8	3.4	4.4	-3.0	-0.1
	資金繰り	-16.9	-12.0	-27.7	-21.4	-37.6	-35.9	-25.6	-41.3	-25.0	-30.8	-21.1	-23.7	-30.1	-22.7	-27.8	-26.1		-34.2
	修正値	-15.3	-14.8	-26.1	-20.0	-35.3	-31.5	-27.6	-39.9	-24.3	-34.3	-20.9	-24.0	-26.2	-18.4	-29.4	-22.9	-3.0	-36.8
前年同期比	売上額	-21.7		-18.5		-69.9		-71.8		-52.6		-40.9		-40.2		-38.0			
	収益	-26.1		-27.7		-69.9		-70.5		-55.3		-38.8		-49.5		-43.0			
雇用	残業時間	-24.6	-13.2	-23.8	-17.6	-59.3	-39.7	-32.5	-47.8	-27.3	-23.4	-20.6	-22.1	-26.9	-29.9	-25.3	-19.6		-19.0
	人手	-53.6	-50.0	-50.8	-48.5	2.2	-31.7	-12.8	-5.5	-27.3	-30.8	-30.9	-31.2	-25.8	-20.6	-25.3	-30.4		-32.9
借入金	借入難易度	-2.9		-13.3		2.3		2.9		4.1		-6.0		-3.4		-5.3			
	借入をした(%)	32.8	18.9	31.1	25.4	33.7	20.3	37.7	35.3	30.7	18.3	34.3	13.3	36.3	25.0	31.2	17.2		21.9
	借入をしない(%)	67.2	81.1	68.9	74.6	66.3	79.7	62.3	64.7	69.3	81.7	65.7	86.7	63.7	75.0	68.8	82.8		78.1
有効回答事業所数		71		65		93		79		77		76		93		79			

地域名：品川区

中分類：業種合計

注：各項目の右側は、前期調査における予想（計画）値です。

調査期		R1 10～12月期		R2 1～3月期		R2 4～6月期		R2 7～9月期		R2 10～12月期		R3 1～3月期		R3 4～6月期		R3 7～9月期		対 前期比	R3 10～12月期
設備投資動向（％）	現在の設備	-1.5	-16.0	-6.3	-1.6	-6.7	-1.6	-3.9	-9.0	-6.8	-1.3	-10.4	-6.8	-13.6	-7.5	-11.8	-16.1		-13.2
	実施した	28.1	31.5	35.2	28.1	32.9	32.1	31.1	22.9	35.1	26.0	36.4	36.1	23.5	24.2	26.4	18.4		26.8
	事業用地・建物	4.7	6.8	1.9	6.3	3.5	1.9	4.1	3.6	4.1	4.1	3.0	2.8	3.5	1.5	1.4	3.4		4.2
	機械・設備の新・増設	4.7	8.2	5.6	4.7	10.6	3.8	8.1	7.2	6.8	8.2	9.1	6.9	4.7	6.1	4.2	4.6		1.4
	機械・設備の更改	7.8	4.1	9.3	4.7	3.5	3.8	6.8	4.8	6.8	5.5	6.1	9.7	2.4	4.5	2.8	4.6		7.0
	事務機器	17.2	8.2	24.1	17.2	18.8	18.9	13.5	10.8	24.3	15.1	24.2	23.6	11.8	12.1	13.9	10.3		11.3
	車両	12.5	23.3	18.5	12.5	16.5	15.1	20.3	8.4	18.9	12.3	15.2	18.1	11.8	15.2	16.7	4.6		14.1
	その他	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	1.4	0.0	1.4	0.0	3.0	1.4	1.2	0.0	1.4	1.1		1.4
	実施しない	71.9	68.5	64.8	71.9	67.1	67.9	68.9	77.1	64.9	74.0	63.6	63.9	76.5	75.8	73.6	81.6		73.2
経営上の問題点（％）	売上の停滞・減少	40.9		45.9		67.0		57.7		52.0		44.8		53.8		47.4			
	人手不足	50.0		39.3		31.9		30.8		33.3		35.8		31.9		43.4			
	大手企業との競争の激化	4.5		6.6		3.3		3.8		5.3		3.0		1.1		2.6			
	同業者間の競争の激化	13.6		9.8		17.6		17.9		10.7		16.4		15.4		11.8			
	親企業による選別の強化	3.0		0.0		0.0		5.1		2.7		1.5		1.1		1.3			
	合理化の不足	3.0		3.3		4.4		2.6		2.7		6.0		6.6		2.6			
	利幅の縮小	30.3		26.2		33.0		29.5		30.7		29.9		38.5		25.0			
	材料価格の上昇	15.2		13.1		7.7		10.3		9.3		10.4		17.6		23.7			
	下請の確保難	30.3		31.1		19.8		21.8		21.3		25.4		12.1		13.2			
	駐車場・資材置場の確保難	4.5		1.6		5.5		5.1		8.0		6.0		6.6		2.6			
	人件費の増加	18.2		23.0		13.2		11.5		12.0		17.9		11.0		14.5			
	人件費以外の経費の増加	9.1		13.1		9.9		6.4		12.0		9.0		5.5		6.6			
	技術力の不足	9.1		4.9		8.8		12.8		18.7		13.4		6.6		9.2			
	代金回収の悪化	0.0		0.0		1.1		0.0		1.3		0.0		2.2		0.0			
	天候の不順	6.1		0.0		2.2		7.7		1.3		0.0		7.7		7.9			
	地場産業の衰退	0.0		3.3		0.0		1.3		0.0		0.0		2.2		2.6			
	大手企業・工場の縮小・撤退	1.5		1.6		1.1		2.6		0.0		1.5		0.0		0.0			
	その他	3.0		9.8		3.3		5.1		0.0		6.0		1.1		6.6			
	問題なし	3.0		6.6		6.6		6.4		8.0		4.5		5.5		5.3			
重点経営施策（％）	販路を広げる	35.8		32.8		28.9		29.5		35.5		40.3		38.5		26.0			
	経費を節減する	37.3		37.5		37.8		48.7		39.5		29.9		38.5		33.8			
	情報力を強化する	19.4		17.2		27.8		29.5		23.7		19.4		25.3		24.7			
	新しい工法を導入する	9.0		4.7		4.4		6.4		5.3		6.0		2.2		5.2			
	新しい事業を始める	4.5		1.6		11.1		3.8		11.8		6.0		7.7		3.9			
	技術力を高める	32.8		25.0		35.6		38.5		35.5		38.8		30.8		23.4			
	人材を確保する	41.8		48.4		38.9		43.6		39.5		46.3		39.6		45.5			
	パート化を図る	0.0		1.6		0.0		1.3		1.3		0.0		1.1		1.3			
	教育訓練を強化する	17.9		14.1		15.6		11.5		10.5		16.4		9.9		10.4			
	労働条件を改善する	13.4		17.2		13.3		12.8		11.8		13.4		8.8		9.1			
	不動産の有効活用を図る	3.0		1.6		2.2		2.6		2.6		4.5		3.3		3.9			
	その他	0.0		3.1		0.0		0.0		1.3		1.5		0.0		0.0			
	特になし	6.0		15.6		8.9		10.3		10.5		6.0		9.9		9.1			
有効回答事業所数		71		65		93		79		77		76		93		79			

調査の概要

1. 調査時期 令和3年7～9月期
2. 調査方法 郵送アンケート調査
3. 調査の対象と回収状況

	調査対象事業所数	有効回答事業所数
製造業	102	70
卸売業	102	81
小売業	102	63
サービス業	102	69
建設業	102	79
合計	510	362